

第2期佐用町地域福祉計画策定に向けた
アンケート
結果報告書
【住民へのアンケート】

令和4年10月
佐用町

目次

| | | |
|-------|----------------------------|----|
| I | 調査概要 | 1 |
| 1 | 調査の目的 | 1 |
| 2 | 調査の方法 | 1 |
| 3 | 結果の見方 | 1 |
| II | 調査結果 | 2 |
| 1 | 回答者する方の基本事項 | 2 |
| 1-1 | 性別 | 2 |
| 1-2 | 年齢 | 2 |
| 1-3 | 居住地域 | 2 |
| 1-4 | 居住年数 | 3 |
| 1-5 | 現在の地域での居留意向 | 3 |
| 1-6 | 職業 | 3 |
| 1-7 | 家族構成 | 4 |
| 1-8 | 同居家族の属性 | 4 |
| 2 | 日常生活における課題 | 5 |
| 2-1 | 佐用町において支援が必要な住民にとっての暮らしやすさ | 5 |
| 2-2 | 居住地域の暮らしやすさ | 6 |
| 2-3 | 暮らしにおける悩み・不安 | 8 |
| 2-4 | 地域に求める支援 | 9 |
| 2-5 | 助けや相談が必要なとき | 10 |
| 2-6 | 相談した経験の有無 | 11 |
| 2-6-1 | 実際の相談先 | 12 |
| 2-6-2 | 相談の結果 | 13 |
| 2-6-3 | 支援につながらなかった・つながりにくかった理由 | 13 |
| 2-7 | 住民が考える地域で取り組むべき課題や問題 | 14 |
| 3 | お住まいの地域 | 16 |
| 3-1 | 近所付き合いの程度 | 16 |
| 3-2 | 新型コロナウイルス感染症による影響 | 17 |
| 3-3 | 地域との関わり方 | 17 |
| 3-3-1 | 地域との関わりを持ちたくない理由 | 18 |
| 4 | 地域活動・ボランティア活動 | 19 |
| 4-1 | 手助けの積極性 | 19 |
| 4-1-1 | 手助けを躊躇する理由 | 19 |
| 4-2 | 地域活動への参加 | 20 |
| 4-2-1 | 具体的な活動内容 | 21 |
| 4-2-2 | 活動していない理由 | 21 |

| | | |
|-------|------------------------|----|
| 4-3 | 今後してみたい地域活動 | 22 |
| 4-4 | 住民が考える佐用町に必要な地域活動 | 23 |
| 4-5 | 地域活動がより活発になるには | 24 |
| 5 | これからの福祉のあり方 | 25 |
| 5-1 | 福祉に関する情報源 | 25 |
| 5-2 | 安心して暮らすための支援 | 26 |
| 5-3 | 成年後見人制度の認知度 | 28 |
| 5-4 | 認知症と成年後見人制度 | 29 |
| 6 | 生活困窮者の支援のあり方 | 30 |
| 6-1 | 生活困窮者自立支援制度の認知度 | 30 |
| 6-2 | 生活困窮問題と支援制度への関心 | 31 |
| 6-2-1 | 注力すべき支援内容 | 32 |
| 7 | 非行や犯罪をした人の立ち直り | 33 |
| 7-1 | 立ち直りに必要な支援 | 33 |
| 7-2 | 支援の協力に対する積極性 | 34 |
| 7-2-1 | 協力したくない理由 | 35 |
| 8 | 防災・災害 | 36 |
| 8-1 | 災害時、近所に支援を必要とする住民 | 36 |
| 8-2 | 避難行動要支援者名簿の認知度 | 37 |
| 8-3 | 災害時に自分ができると思うこと | 38 |
| 8-4 | 防災に対する日頃からの取り組み・緊急時の対応 | 39 |
| 9 | 町の地域福祉に関する取り組み | 41 |
| 9-1 | 佐用町における福祉政策への住民の満足度 | 41 |
| 9-2 | 相談支援体制を充実するために必要な取り組み | 43 |
| 9-3 | 自由記述 | 44 |

I 調査概要

1 調査の目的

『第2期佐用町地域福祉計画』の策定に向け、の福祉に対する意識や、地域における活動への参加状況などの実態を把握することを目的に調査を行いました。

2 調査の方法

| | |
|------|--------------------------------|
| 種別 | 住民へのアンケート |
| 調査対象 | 佐用町在住の 18 歳以上の方 1,000 人を無作為に抽出 |
| 調査地域 | 佐用町全域 |
| 調査方法 | 郵送配布・回収 |
| 調査期間 | 令和 4 年9月1日～9 月 20 日 |
| 配布数 | 1000 件 |
| 回収数 | 453 件 |
| 回収率 | 45.3% |

3 結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

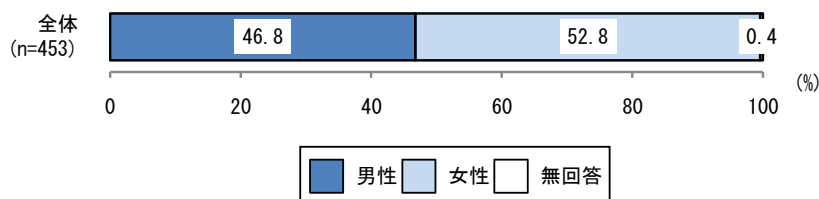
II 調査結果

1 回答者する方の基本事項

1-1 性別

問1 あなたの性別を教えてください。【1つに○】

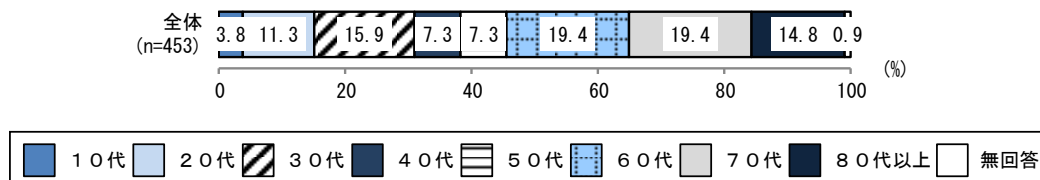
回答者の性別は「女性」が52.8%、「男性」が46.8%とそれぞれ約半数の割合となっています。



1-2 年齢

問2 あなたの年齢をおしえてください。【1つに○】

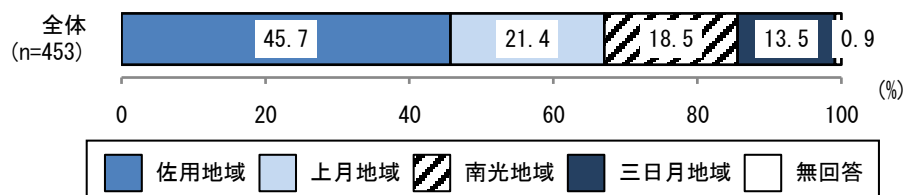
年齢は「60代」「70代」がともに19.4%と最も高く、次いで「30代」が15.9%、「80代」が14.8%となっています。



1-3 居住地域

問3 あなたが住んでいる地域を教えてください。【1つに○】

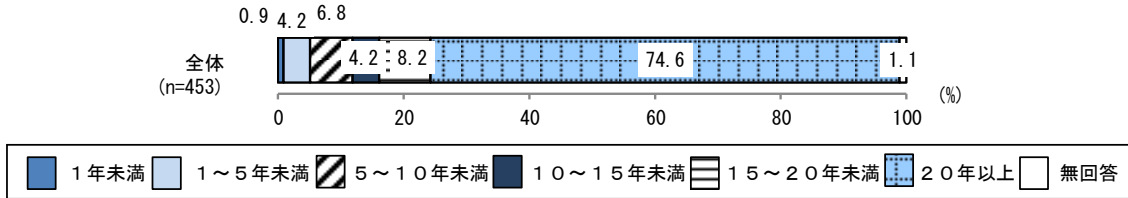
居住地域は「佐用地域」が45.7%と最も高く、次いで「上月地域」が21.4%、「南光地域」が18.5%となっています。



1-4 居住年数

問4 あなたは現在の地域(問3で回答した地域)に何年住んでいますか。【1つに○】

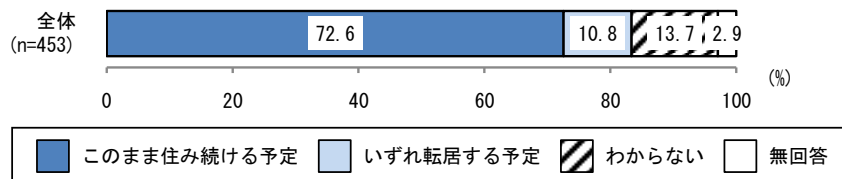
現在の地域の居住年数は「20年以上」が74.6%と最も高く、次いで「15～20年未満」が8.2%、「5～10年未満」が6.8%となっています。



1-5 現在の地域での居住意向

問5 あなたの現在の地域(問3で回答した地域)での居住意向を教えてください。【1つに○】

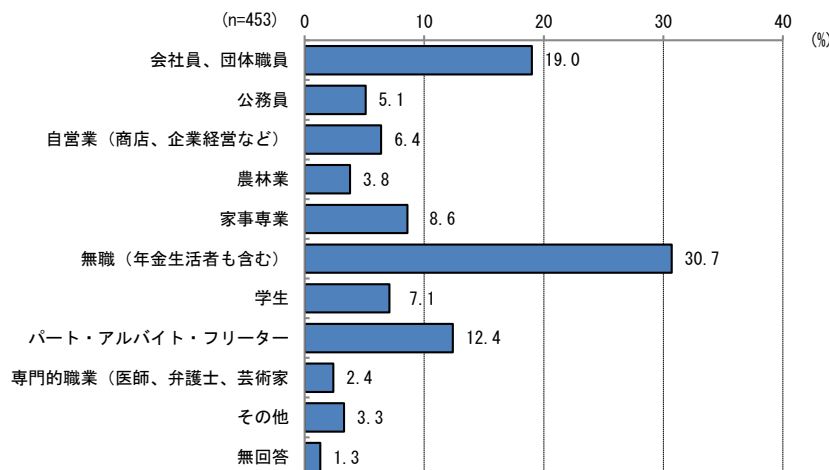
現在の地域での居住意向は、「このまま住み続ける予定」が72.6%と最も高く、次いで「わからない」が13.7%、「いずれ転居する予定」が10.8%となっています。



1-6 職業

問6 あなたの主な職業を教えてください。【1つに○】

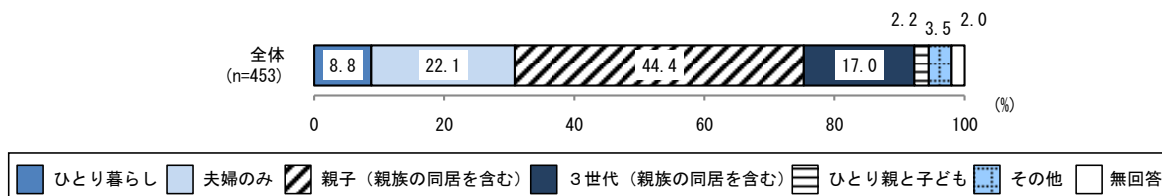
「無職(年金生活者も含む)」が30.7%、「家事専業」が8.6%、「学生」が7.1%となっており、就労している場合は「会社員、団体職員」が19.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・フリーター」が12.4%、「自営業(商店、企業経営など)」が6.4%となっています。



1-7 家族構成

問7 あなたの家族構成を教えてください。【1つに○】

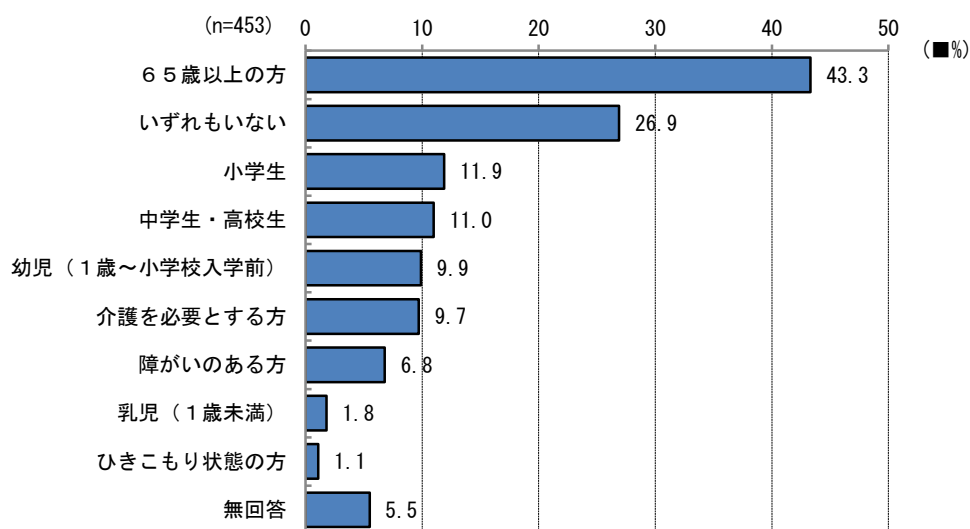
家族構成は、「親子(親族の同居を含む)」が44.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が22.1%、「3世代(親族の同居を含む)」が17.0%となっています。



1-8 同居家族の属性

問8 あなた自身、または同居している家族に次の方はいますか。【あてはまるものすべてに○】

回答者または同居家族の属性は、「65歳以上の方」が43.3%と最も高く、次いで「いずれもない」が26.9%、「小学生」が11.9%となっています。



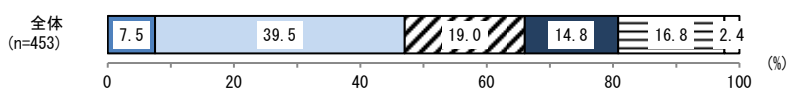
2 日常生活における課題

2-1 佐用町において支援が必要な住民にとっての暮らしやすさ

問9 佐用町は子どもや高齢者、障がいのある方、病気を持つ方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。【1つに○】

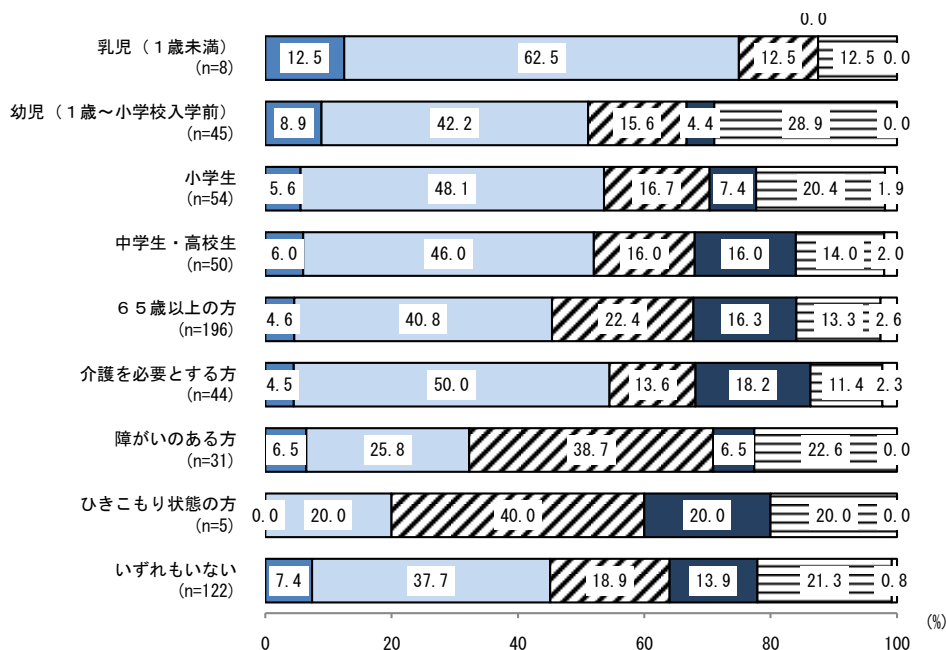
佐用町での暮らしやすさは、「まあまあ暮らしやすいと思う」が39.5%と最も高く、次いで「あまり暮らしやすいとは思わない」が19.0%、「わからない」が16.8%となっています。

同居家族別でみると、『障がいのある方』と同居している場合、「あまり暮らしやすいとは思わない」が38.7%と他と比べて高くなっています。



■ 暮らしやすいと思う ■ まあまあ暮らしやすいと思う ▨ あまり暮らしやすいとは思わない ■ 暮らしやすいとは思わない ▨ わからない □ 無回答

【同居者別】



■ 暮らしやすいと思う ■ まあまあ暮らしやすいと思う ▨ あまり暮らしやすいとは思わない ■ 暮らしやすいとは思わない ▨ わからない □ 無回答

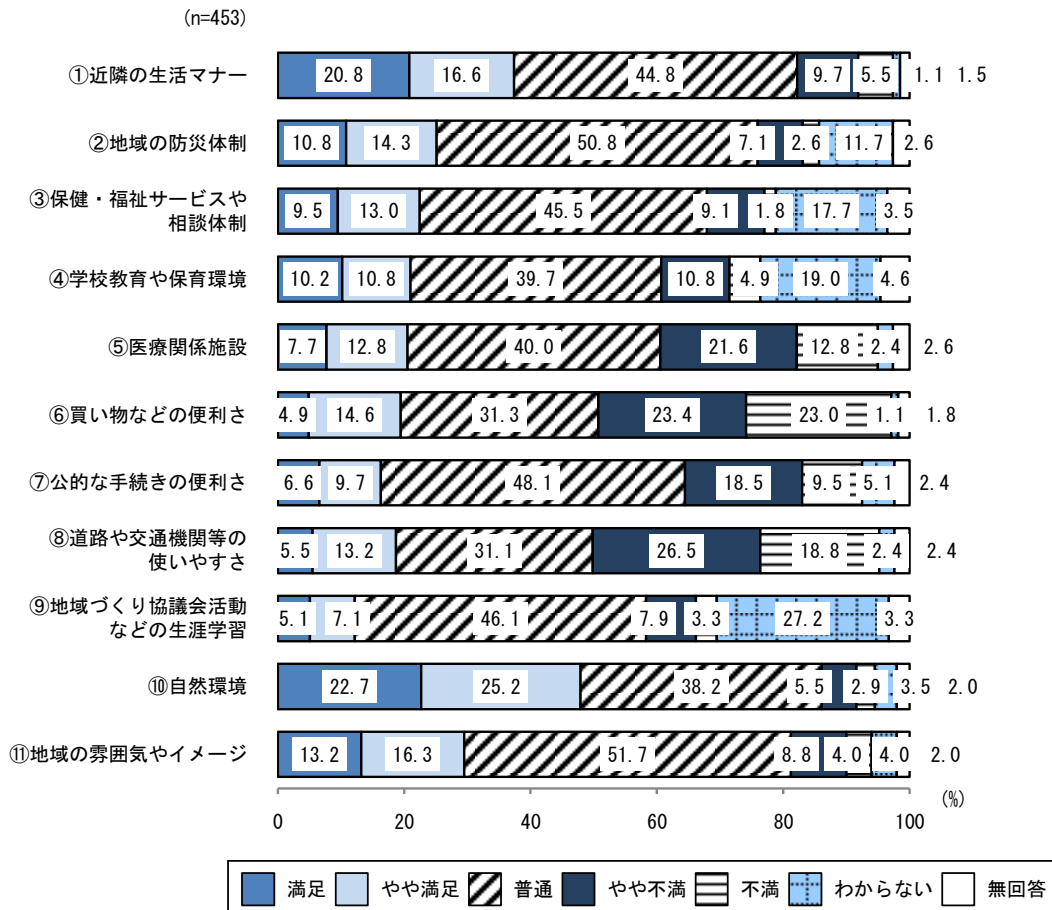
2-2 居住地域の暮らしやすさ

問10 あなたが住んでいる地域（問3で回答した地域）の暮らしやすさはいかがですか【各項目1つずつに○】

居住地域の暮らしやすさは、すべての項目においても「普通」の割合が最も高くなっています。特に『自然環境』においては「満足」22.7%、「やや満足」25.2%と他の項目より不満が少ない結果となっています。

一方、『医療機関施設』『買い物などの便利さ』『道路や交通機関等の使いやすさ』においてはいずれも「やや不満」がおよそ2割、「不満」が1～2割と他の項目と比べて高くなっています。

地域別で見ると、佐用地域では、「買い物などの便利さ」「公的な手続きの便利さ」「道路や交通機関等の使いやすさ」の満足度（「満足」＋「やや満足」）が高く、上月地域、南光地域、三日月地域では不満度（「不満」＋「やや不満」）が高くなっています。



【地域別】

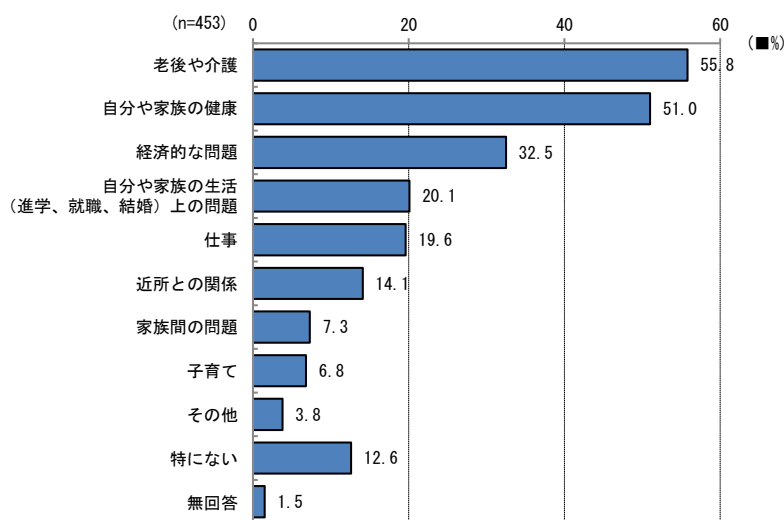
| | 満足度 | | | | 不満度 | | | |
|---------------------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|
| | 佐用地域 | 上月地域 | 南光地域 | 三日月地域 | 佐用地域 | 上月地域 | 南光地域 | 三日月地域 |
| ①近隣の生活マナー | 38.7 | 37.1 | 35.7 | 36.1 | 14.9 | 11.4 | 17.8 | 18.1 |
| ②地域の防災体制 | 25.6 | 27.9 | 21.4 | 24.6 | 7.7 | 11.4 | 11.9 | 9.8 |
| ③保険・福祉サービスや相談体制 | 22.7 | 21.6 | 22.6 | 23.0 | 6.8 | 13.4 | 16.7 | 11.4 |
| ④学校教育や保育環境 | 22.7 | 22.6 | 19.0 | 16.4 | 12.1 | 18.5 | 22.6 | 13.1 |
| ⑤医療関係施設 | 22.2 | 23.7 | 20.3 | 9.9 | 30.5 | 32.0 | 39.3 | 45.9 |
| ⑥買い物などの便利さ | 31.4 | 8.3 | 10.7 | 9.8 | 33.4 | 60.8 | 45.3 | 68.8 |
| ⑦公的な手続きの便利さ | 21.3 | 12.4 | 11.9 | 11.5 | 20.7 | 31.0 | 34.5 | 39.4 |
| ⑧道路や交通機関等の使いやすさ | 24.6 | 14.5 | 15.5 | 11.4 | 35.8 | 55.6 | 52.4 | 50.8 |
| ⑨地域づくりの協議会活動などの生涯学習 | 14.0 | 10.4 | 8.3 | 13.1 | 10.6 | 8.3 | 11.9 | 16.4 |
| ⑩自然環境 | 49.8 | 48.5 | 42.8 | 49.2 | 5.8 | 8.3 | 15.5 | 6.6 |
| ⑪地域の雰囲気やイメージ | 30.9 | 28.9 | 26.2 | 31.2 | 11.1 | 11.3 | 14.3 | 19.6 |

2-3 暮らしにおける悩み・不安

問11 あなたは毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。【あてはまるものすべてに○】

暮らしにおける悩み・不安は「老後や介護」が55.8%と最も高く、次いで「自分や家族の健康」が51.0%、「経済的な問題」が32.5%となっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、40歳代以上は「老後や介護」「自分や家族の健康」が高くなっています。20歳代～40歳代は「仕事」が高くなっています。



【年齢別】

| | 回答者数 | 老後や介護 | 自分や家族の健康 | 経済的な問題 | 婚(進学や就職、生活)上の問題 | 仕事 | 近所との関係 | 家族間の問題 | 子育て | その他 | 特にない | 無回答 |
|--------|------|-------|----------|--------|-----------------|------|--------|--------|------|------|------|-----|
| 全体 | 453 | 55.8 | 51.0 | 32.5 | 20.1 | 19.6 | 14.1 | 7.3 | 6.8 | 3.8 | 12.6 | 1.5 |
| 10歳代 | 17 | 11.8 | 23.5 | 11.8 | 23.5 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 17.6 | 29.4 | 0.0 |
| 20歳代 | 51 | 29.4 | 31.4 | 31.4 | 31.4 | 33.3 | 15.7 | 9.8 | 11.8 | 7.8 | 21.6 | 0.0 |
| 30歳代 | 72 | 30.6 | 40.3 | 50.0 | 20.8 | 36.1 | 11.1 | 9.7 | 25.0 | 1.4 | 16.7 | 0.0 |
| 40歳代 | 33 | 57.6 | 45.5 | 33.3 | 27.3 | 39.4 | 12.1 | 15.2 | 15.2 | 9.1 | 15.2 | 3.0 |
| 50歳代 | 33 | 63.6 | 60.6 | 27.3 | 24.2 | 27.3 | 12.1 | 3.0 | 0.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 |
| 60歳代 | 88 | 77.3 | 60.2 | 31.8 | 21.6 | 17.0 | 12.5 | 5.7 | 2.3 | 2.3 | 6.8 | 0.0 |
| 70歳代 | 88 | 71.6 | 62.5 | 35.2 | 18.2 | 4.5 | 20.5 | 9.1 | 0.0 | 1.1 | 9.1 | 0.0 |
| 80歳代以上 | 67 | 61.2 | 55.2 | 19.4 | 4.5 | 4.5 | 14.9 | 1.5 | 0.0 | 3.0 | 13.4 | 4.5 |

2-4 地域に求める支援

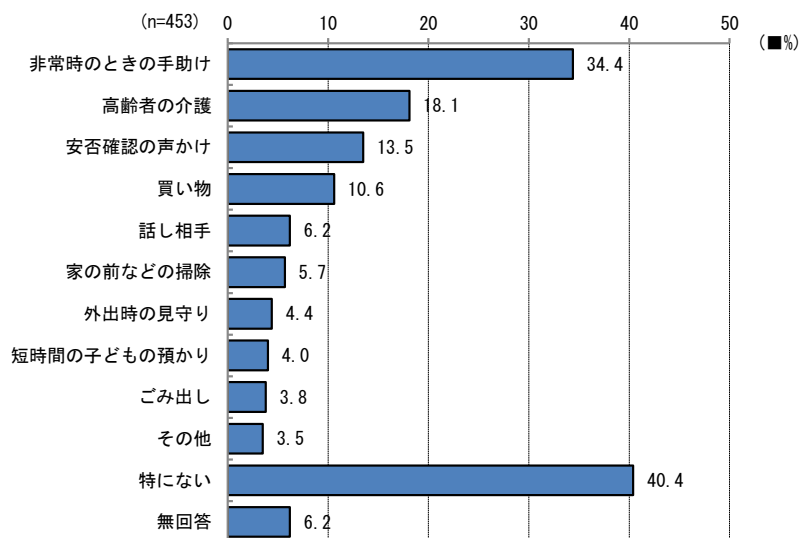
問12 あなたが感じている暮らしの課題や問題で、地域で手助けしてほしいことはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】

「特にない」が40.4%となっており、支援を求めている場合は「非常時のときの手助け」が34.4%と最も高く、次いで「高齢者の介護」が18.1%、「安否確認の声かけ」が13.5%となっています。

性別で見ると、女性に比べて男性は「高齢者の介護」が高くなっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて80歳代以上は「非常時のときの手助け」が高くなっています。

同居者別で見ると、介護を必要とする方と同居している場合、「非常時のときの手助け」が高くなっています。



【性別・年齢別】

| | 回答者数 | 非常時のときの手助け | 高齢者の介護 | 安否確認の声かけ | 買い物 | 話し相手 | 家の前などの掃除 | 外出時の見守り | 短時間の子どもの預かり | ごみ出し | その他 | 特にない | 無回答 |
|-------|------|------------|--------|----------|------|------|----------|---------|-------------|------|-----|------|------|
| 全体 | 453 | 34.4 | 18.1 | 13.5 | 10.6 | 6.2 | 5.7 | 4.4 | 4.0 | 3.8 | 3.5 | 40.4 | 6.2 |
| 男性 | 212 | 36.8 | 21.7 | 14.6 | 11.8 | 5.7 | 6.1 | 6.6 | 3.8 | 2.4 | 2.8 | 38.7 | 5.7 |
| 女性 | 239 | 32.6 | 15.1 | 12.6 | 9.6 | 6.7 | 5.4 | 2.5 | 4.2 | 5.0 | 4.2 | 41.8 | 6.3 |
| 10歳代 | 17 | 29.4 | 17.6 | 0.0 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 52.9 | 5.9 |
| 20歳代 | 51 | 41.2 | 23.5 | 5.9 | 7.8 | 3.9 | 5.9 | 2.0 | 5.9 | 2.0 | 2.0 | 43.1 | 3.9 |
| 30歳代 | 72 | 29.2 | 12.5 | 6.9 | 9.7 | 4.2 | 4.2 | 8.3 | 9.7 | 2.8 | 4.2 | 47.2 | 4.2 |
| 40歳代 | 33 | 30.3 | 30.3 | 12.1 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 15.2 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 6.1 |
| 50歳代 | 33 | 36.4 | 18.2 | 18.2 | 6.1 | 3.0 | 3.0 | 6.1 | 0.0 | 6.1 | 6.1 | 33.3 | 6.1 |
| 60歳代 | 88 | 22.7 | 12.5 | 12.5 | 5.7 | 6.8 | 2.3 | 4.5 | 1.1 | 3.4 | 4.5 | 54.5 | 6.8 |
| 70歳代 | 88 | 38.6 | 18.2 | 22.7 | 11.4 | 6.8 | 11.4 | 6.8 | 1.1 | 4.5 | 2.3 | 33.0 | 4.5 |
| 80歳以上 | 67 | 46.3 | 20.9 | 14.9 | 17.9 | 13.4 | 9.0 | 0.0 | 0.0 | 7.5 | 6.0 | 26.9 | 10.4 |

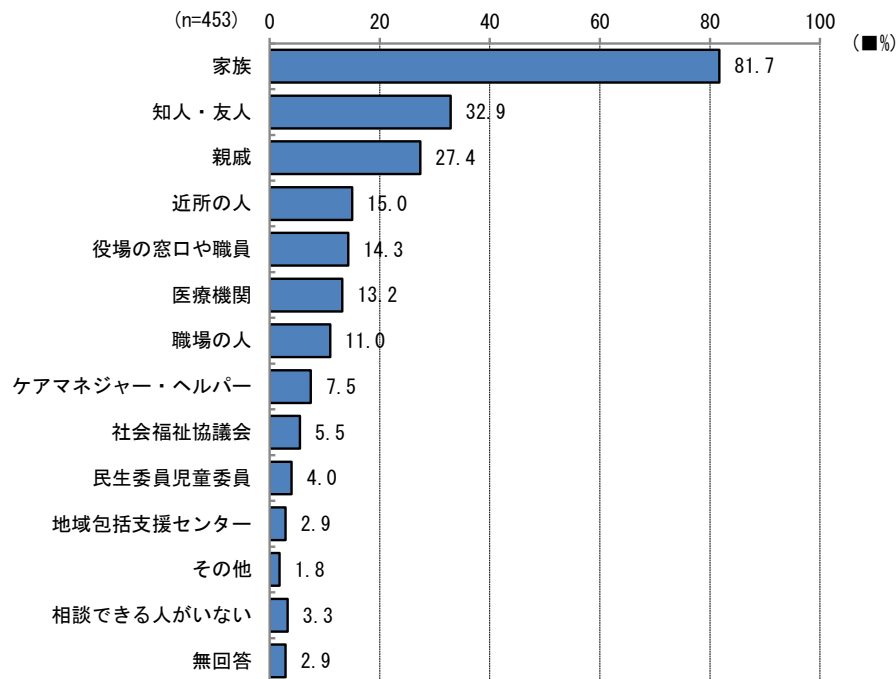
【同居者別】

| | 回答者数 | の非常 手助け のとき | 高齢者 の介護 | か け 安 否 確 認 の 声 | 買 い 物 | 話 し 相 手 | 掃 除 家 の 前 な ど の | り 外 出 時 の 見 守 | も の 短 時 間 の 子 ど | ご み 出 し | そ の 他 | 特 に な い | 無 回 答 |
|---------------|------|-------------------|------------|--------------------------------------|-------------|------------------|--------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|------------------|-------------|------------------|-------------|
| 全体 | 453 | 34.4 | 18.1 | 13.5 | 10.6 | 6.2 | 5.7 | 4.4 | 4.0 | 3.8 | 3.5 | 40.4 | 6.2 |
| 乳児(1歳未満) | 8 | 12.5 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 |
| 幼児(1歳～小学校入学前) | 45 | 31.1 | 11.1 | 6.7 | 6.7 | 2.2 | 2.2 | 4.4 | 17.8 | 2.2 | 2.2 | 44.4 | 8.9 |
| 小学生 | 54 | 25.9 | 16.7 | 7.4 | 13.0 | 1.9 | 1.9 | 3.7 | 13.0 | 3.7 | 3.7 | 35.2 | 7.4 |
| 中学生・高校生 | 50 | 26.0 | 24.0 | 8.0 | 8.0 | 4.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 2.0 | 48.0 | 6.0 |
| 65歳以上の方 | 196 | 34.7 | 19.4 | 14.3 | 11.2 | 5.6 | 5.1 | 4.6 | 3.1 | 3.1 | 3.1 | 45.4 | 4.1 |
| 介護を必要とする方 | 44 | 47.7 | 31.8 | 18.2 | 25.0 | 20.5 | 15.9 | 4.5 | 0.0 | 6.8 | 11.4 | 20.5 | 9.1 |
| 障がいのある方 | 31 | 32.3 | 22.6 | 22.6 | 25.8 | 12.9 | 6.5 | 16.1 | 3.2 | 9.7 | 9.7 | 38.7 | 0.0 |
| ひきこもり状態の方 | 5 | 20.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 20.0 |
| いずれもない | 122 | 35.2 | 13.1 | 15.6 | 9.0 | 4.1 | 7.4 | 4.1 | 1.6 | 4.1 | 4.1 | 38.5 | 6.6 |

2-5 助けや相談が必要なとき

問 1 3 あなたは暮らしの中で助けや相談が必要なとき、誰に相談しますか。【あてはまるものすべてに○】

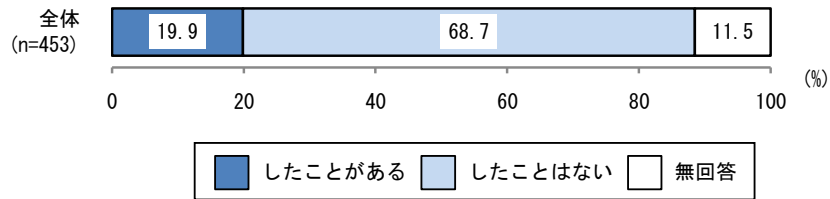
相談相手は、「家族」が81.7%と最も高く、次いで「知人・友人」が32.9%、「親戚」27.4%となっています。



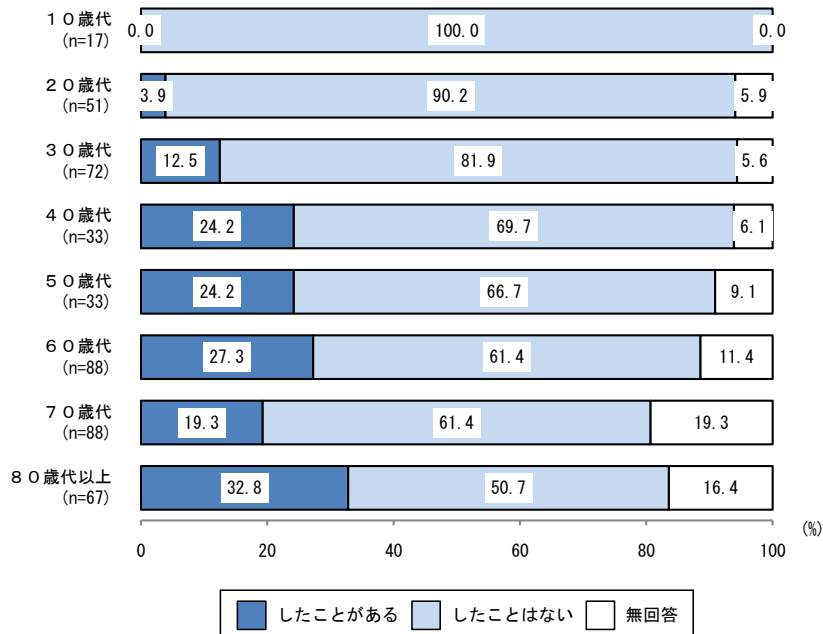
2-6 相談した経験の有無

問14 実際に福祉のことで誰かに相談したことはありますか。【1つに○】

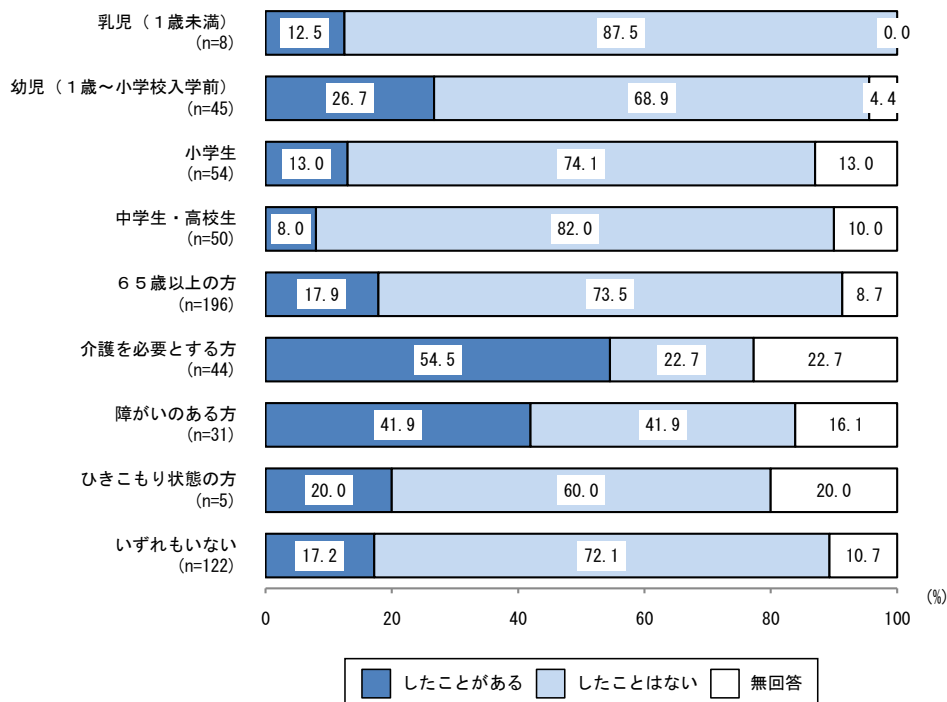
「したことはない」が68.7%と全体の大半を占めており、「したことがある」は19.9%となっています。年齢別で見ると、70歳代を除いて、年齢が上がるほど、「したことがある」の回答率が上昇しています。同居者別で見ると、介護を必要とする方、障がいのある方と同居している場合「したことがある」が高くなっています。



【年齢別】



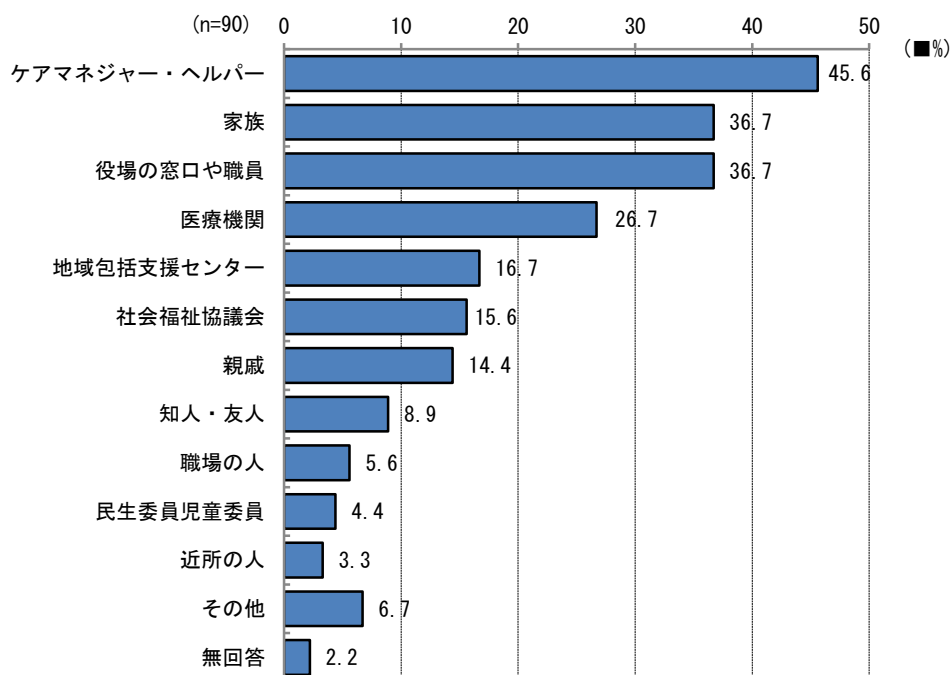
【同居者別】



2-6-1 実際の相談先

問14-1 その時、誰に相談しましたか。【あてはまるものすべてに○】

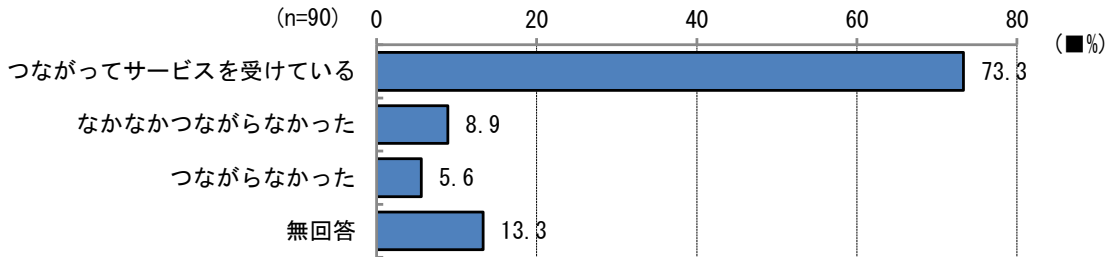
相談先は、「ケアマネジャー・ヘルパー」が45.6%と最も高く、次いで「家族」「役場の窓口や職員」がともに36.7%、「医療機関」が26.7%となっています。



2-6-2 相談の結果

問14-2 相談した結果、支援につながりましたか。【あてはまるものすべてに○】

相談した結果、「つながってサービスを受けている」が73.3%と全体の大半を占めており、次いで「なかなかつながらなかった」が8.9%、「つながらなかった」が5.6%となっています。



2-6-3 支援につながらなかった・つながりにくかった理由

問14-3 よろしければ、つながらなかった、つながりにくかった理由を教えてください

| | |
|---------------|--|
| 周囲の人 自分・家族 | 身近な家族の協力が得られなかったため。 |
| | 自分の性格に原因がある |
| | 問題に直面した時、近所の方々は力にならなくて、ケアマネジャーや福祉関係の方々が応援して下さり今の安定した生活のパターンが決まり有難く過ごしている |
| 相談した先の都合 | 足に障害があるので、障害者手帳の相談をしたが、不要でないかとあまり相談に乗ってもらえなかった。 |
| | こちらが相談している内容を理解されなかった。 |
| | こちらの意見をケアマネに伝えているが、途中で対応が変わってしまうことがあった。 |
| | 役場福祉科は相談できる人がいない状態が続いて困っています。 |
| | 医療機関(健康福祉)の手続きに(コロナの影響で)混み合っていて書類申請の際3ヶ月かかると言われ困った。 |
| その他 | 社協のまごころサービスなのか、ボランティアの仕事か有料ボランティアとしてある協議会が行っていることを聞いたけど行政が中心となった福祉活動と思うが地域住民が主であるような方向づけではないかと意見のくい違いあり、キッチンと整理が必要と感じる |
| | 現在、受けていないだけである。毎回の食事のサービスを探していたが、サービスはほとんどないようである。 |

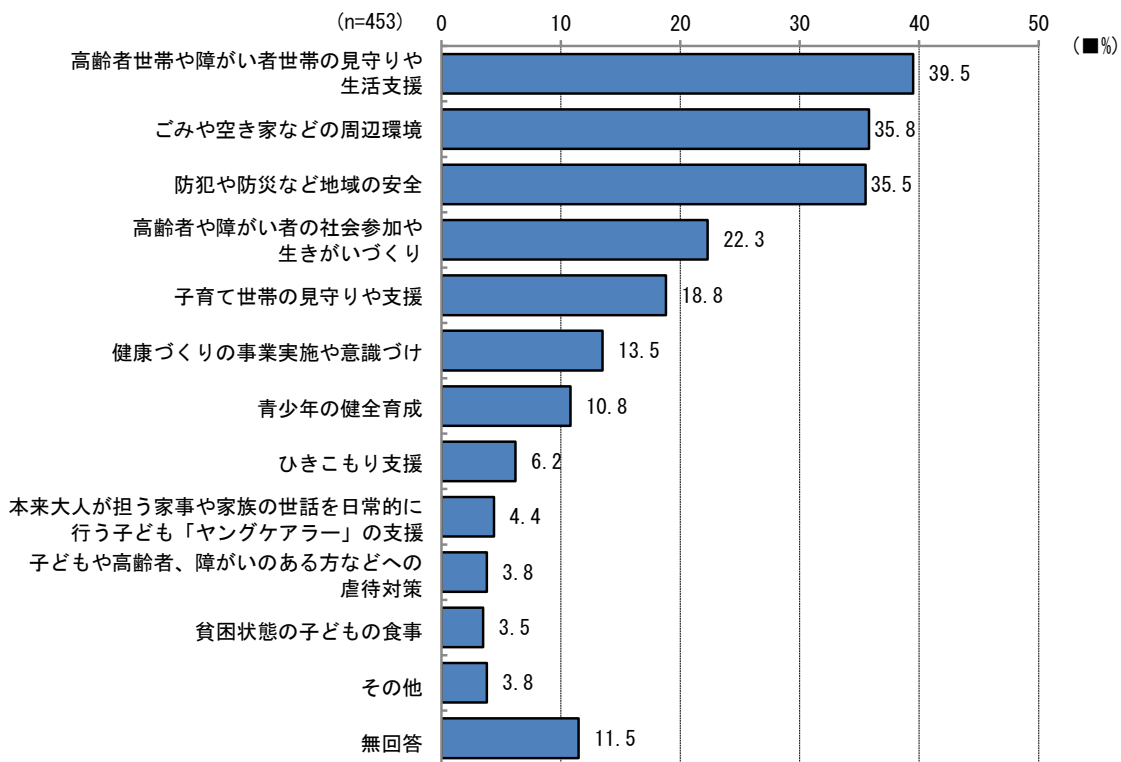
2-7 住民が考える地域で取り組むべき課題や問題

問15 あなたが住んでいる地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあると思いますか。【3つまで○】

「高齢世帯や障がい者世帯の見守りや生活支援」が39.5%と最も高く、次いで「ごみや空き家などの周辺環境」が35.8%、「防犯や防災など地域の安全」が35.5%となっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、20～30歳代は「子育て世帯の見守りや支援」が高くなっています。

地域別で見ると、他の地域に比べて、南光地域は「防犯や防災など地域の安全」が高く、逆に三日月地域では低くなっています。



【年齢別】

| | 回答者数 | 高齢者世帯や障がい者世帯の見守りや生活支援 | ごみや空き家などの周辺環境 | 防犯や防災など地域の安全 | 高齢者や障がい者の社会参加や生きがいのづくり | 子育て世帯の見守りや支援 | 健康づくりの事業実施 | 青少年の健全育成 | ひきこもり支援 | ヤングケアラーの支援 | 本来大人が担う家事や家族の世話を日常的に行う子どもや高齢者、障がいのある方などへの虐待対策 | 貧困状態の子どもの食事 | その他 | 無回答 |
|--------|------|-----------------------|---------------|--------------|------------------------|--------------|------------|----------|---------|------------|---|-------------|-----|------|
| 全体 | 453 | 39.5 | 35.8 | 35.5 | 22.3 | 18.8 | 13.5 | 10.8 | 6.2 | 4.4 | 3.8 | 3.5 | 3.8 | 11.5 |
| 10歳代 | 17 | 58.8 | 35.3 | 29.4 | 11.8 | 17.6 | 5.9 | 17.6 | 5.9 | 5.9 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 20歳代 | 51 | 37.3 | 33.3 | 27.5 | 17.6 | 41.2 | 15.7 | 9.8 | 5.9 | 9.8 | 7.8 | 9.8 | 2.0 | 13.7 |
| 30歳代 | 72 | 33.3 | 44.4 | 26.4 | 16.7 | 43.1 | 6.9 | 9.7 | 1.4 | 6.9 | 6.9 | 4.2 | 0.0 | 11.1 |
| 40歳代 | 33 | 33.3 | 33.3 | 36.4 | 15.2 | 24.2 | 21.2 | 21.2 | 6.1 | 6.1 | 0.0 | 6.1 | 3.0 | 9.1 |
| 50歳代 | 33 | 51.5 | 24.2 | 39.4 | 33.3 | 18.2 | 6.1 | 12.1 | 9.1 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 9.1 | 6.1 |
| 60歳代 | 88 | 45.5 | 44.3 | 42.0 | 20.5 | 11.4 | 10.2 | 12.5 | 6.8 | 2.3 | 3.4 | 1.1 | 3.4 | 9.1 |
| 70歳代 | 88 | 40.9 | 36.4 | 40.9 | 22.7 | 3.4 | 18.2 | 8.0 | 11.4 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 4.5 | 10.2 |
| 80歳代以上 | 67 | 31.3 | 25.4 | 34.3 | 34.3 | 4.5 | 19.4 | 6.0 | 3.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 7.5 | 20.9 |

【地域別】

| | 回答者数 | 援世高齢者世帯の見守りや生活支援者 | 高齢者世帯や障がい者 | ごみや空き家などの周辺環境 | 防犯や防災など地域の安全 | り会参加や生きがいづくり | 高年齢や障がい者の社会参加 | 子育て世帯の見守りや支援 | 健康づくりの事業実施や意識づけ | 青少年の健全育成 | ひきこもり支援 | 本来大人が担う家事や家族の世話を日常的に行う子ども「ヤングケケ」 | 子どもや高齢者、障がいのある方などへの虐待対策 | 事貧困状態の子どもの食 | その他 | 無回答 |
|-------|------|-------------------|------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|-----------------|----------|---------|----------------------------------|-------------------------|-------------|-----|-----|
| 全体 | 453 | 39.5 | 35.8 | 35.5 | 22.3 | 18.8 | 13.5 | 10.8 | 6.2 | 4.4 | 3.8 | 3.5 | 3.8 | 11.5 | | |
| 佐用地域 | 207 | 40.1 | 33.8 | 34.3 | 18.8 | 19.3 | 11.6 | 10.6 | 5.8 | 3.9 | 4.3 | 3.9 | 3.4 | 12.6 | | |
| 上月地域 | 97 | 38.1 | 35.1 | 37.1 | 17.5 | 11.3 | 22.7 | 6.2 | 9.3 | 6.2 | 2.1 | 3.1 | 6.2 | 13.4 | | |
| 南光地域 | 84 | 38.1 | 39.3 | 44.0 | 29.8 | 15.5 | 9.5 | 11.9 | 0.0 | 2.4 | 3.6 | 3.6 | 2.4 | 10.7 | | |
| 三日月地域 | 61 | 44.3 | 41.0 | 24.6 | 31.1 | 34.4 | 11.5 | 16.4 | 11.5 | 4.9 | 3.3 | 1.6 | 3.3 | 4.9 | | |

3 お住まいの地域

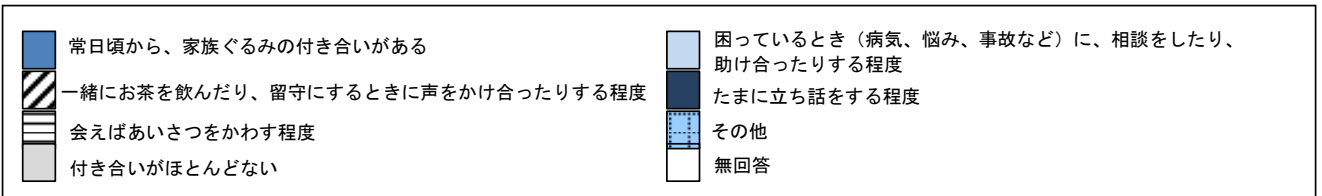
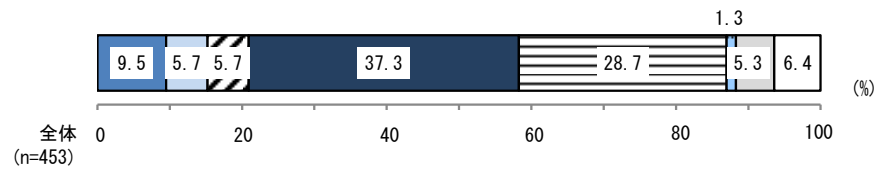
3-1 近所付き合いの程度

問16 あなたは普段、近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。【1つに○】

近所付き合いの程度は「たまに立ち話をする程度」が37.3%と最も高く、次いで「会えばあいさつをかわす程度」が28.7%、「常日頃から、家族ぐるみの付き合いがある」が9.5%となっています。

年齢別で見ると、40歳代以下は、「会えばあいさつをかわす程度」が高く、50歳代以上は「たまに立ち話をする程度」が高くなっています。

地域別で見ると、他の地域に比べて、三日月地域では「会えばあいさつをかわす程度」が低くなっています。



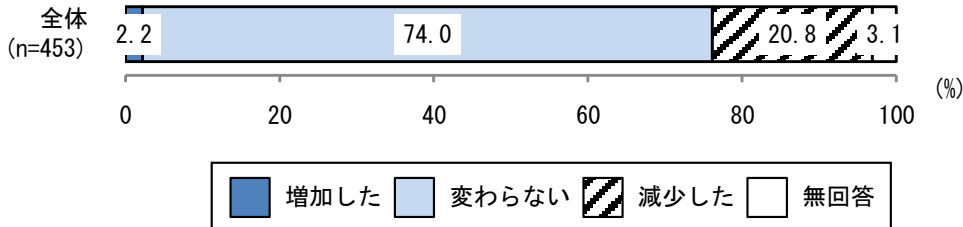
【年齢別・地域別】

| | 回答者数 | 常日頃から、家族ぐるみの付き合いがある | 一緒にお茶を飲んだり、留守にするときに声をかけ合ったりする程度 | 困っているとき（病気、悩み、事故など）に、相談をしたり、助け合ったりする程度 | たまに立ち話をする程度 | 会えばあいさつをかわす程度 | その他 | 付き合いがほとんどない | 無回答 |
|-------|------|---------------------|---------------------------------|--|-------------|---------------|-----|-------------|------|
| 全体 | 453 | 9.5 | 5.7 | 5.7 | 37.3 | 28.7 | 1.3 | 5.3 | 6.4 |
| 10歳代 | 17 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 17.6 | 64.7 | 0.0 | 11.8 | 0.0 |
| 20歳代 | 51 | 0.0 | 3.9 | 0.0 | 31.4 | 49.0 | 0.0 | 9.8 | 5.9 |
| 30歳代 | 72 | 11.1 | 4.2 | 1.4 | 29.2 | 40.3 | 2.8 | 6.9 | 4.2 |
| 40歳代 | 33 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 45.5 | 0.0 | 6.1 | 9.1 |
| 50歳代 | 33 | 12.1 | 6.1 | 3.0 | 45.5 | 18.2 | 3.0 | 9.1 | 3.0 |
| 60歳代 | 88 | 13.6 | 5.7 | 9.1 | 45.5 | 15.9 | 2.3 | 2.3 | 5.7 |
| 70歳代 | 88 | 5.7 | 8.0 | 11.4 | 47.7 | 18.2 | 0.0 | 3.4 | 5.7 |
| 80歳以上 | 67 | 16.4 | 10.4 | 9.0 | 29.9 | 19.4 | 1.5 | 3.0 | 10.4 |
| 佐用地域 | 207 | 8.2 | 4.3 | 4.8 | 37.7 | 30.4 | 1.4 | 4.8 | 8.2 |
| 上月地域 | 97 | 11.3 | 7.2 | 3.1 | 37.1 | 29.9 | 1.0 | 5.2 | 5.2 |
| 南光地域 | 84 | 11.9 | 3.6 | 9.5 | 36.9 | 29.8 | 1.2 | 2.4 | 4.8 |
| 三日月地域 | 61 | 8.2 | 11.5 | 6.6 | 37.7 | 21.3 | 1.6 | 11.5 | 1.6 |

3-2 新型コロナウイルス感染症による影響

問17 ご近所とのつきあいは、新型コロナウイルス感染症による影響で変化がありましたか。【1つに○】

新型コロナウイルス感染症による近所付き合いへの影響は「変わらない」が74.0%と全体の大半を占めており、次いで「減少した」が20.8%、「増加した」が2.2%となっています。



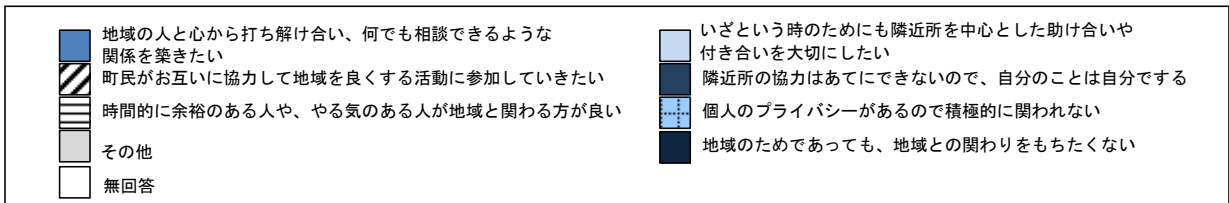
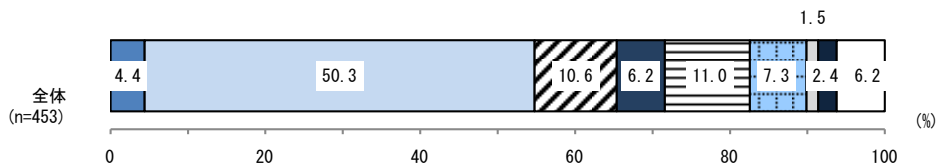
3-3 地域との関わり方

問18 あなたはお住まいの地域との関わりについてどのようにお考えですか。【最も近いもの1つに○】

地域との関わりについて、「いざという時のためにも隣近所を中心とした助け合いや付き合いを大切にしたい」が50.3%と全体の約半数を占めており、次いで「時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方が良い」が11.0%、「町民がお互いに協力して地域を良くする活動に参加していきたい」が10.6%となっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、20～40歳代では、「時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方が良い」が高くなっています。

地域別で見ると、他の地域に比べて、三日月地域では「いざという時のためにも隣近所を中心とした助け合いや付き合いを大切にしたい」が高くなっています。



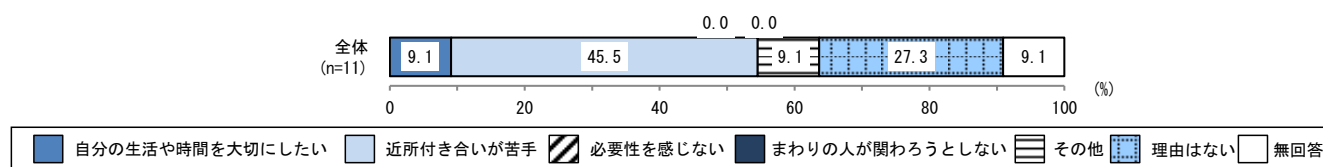
【年齢別・地域別】

| | 回答者数 | 地域の人の心から打ち解けたい、何でも相談できるよ | いざという時のために隣近所を中心とした助け合いや付き合 | 町民がお互いに協力して地域を良くする活動に参加していききたい | 近所の協力はあてにできないので、自分のはでき | 隣近所との協力はあてにできないので、自分のはでき | やる気のある人が地域と関 | 時間的に余裕がある人や、 | 個人のプライベートがある | その他 | 地域のためであつても、地 | 無回答 |
|-------|------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------------|------------------------|--------------------------|--------------|--------------|--------------|------|--------------|-----|
| 全体 | 453 | 4.4 | 50.3 | 10.6 | 6.2 | 11.0 | 7.3 | 1.5 | 2.4 | 6.2 | | |
| 10歳代 | 17 | 0.0 | 58.8 | 17.6 | 11.8 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 5.9 | 0.0 | | |
| 20歳代 | 51 | 2.0 | 35.3 | 23.5 | 0.0 | 21.6 | 5.9 | 3.9 | 2.0 | 5.9 | | |
| 30歳代 | 72 | 1.4 | 45.8 | 5.6 | 0.0 | 29.2 | 8.3 | 0.0 | 1.4 | 8.3 | | |
| 40歳代 | 33 | 0.0 | 51.5 | 12.1 | 9.1 | 18.2 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 6.1 | | |
| 50歳代 | 33 | 3.0 | 60.6 | 3.0 | 6.1 | 9.1 | 3.0 | 3.0 | 6.1 | 6.1 | | |
| 60歳代 | 88 | 4.5 | 56.8 | 11.4 | 2.3 | 5.7 | 11.4 | 2.3 | 2.3 | 3.4 | | |
| 70歳代 | 88 | 10.2 | 46.6 | 9.1 | 12.5 | 1.1 | 12.5 | 2.3 | 2.3 | 3.4 | | |
| 80歳以上 | 67 | 6.0 | 58.2 | 7.5 | 11.9 | 3.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 10.4 | | |
| 佐用地域 | 207 | 2.9 | 47.8 | 10.6 | 4.3 | 12.6 | 10.1 | 2.4 | 1.0 | 8.2 | | |
| 上月地域 | 97 | 7.2 | 47.4 | 13.4 | 9.3 | 9.3 | 5.2 | 1.0 | 3.1 | 4.1 | | |
| 南光地域 | 84 | 7.1 | 54.8 | 8.3 | 7.1 | 8.3 | 8.3 | 1.2 | 1.2 | 3.6 | | |
| 三日月地域 | 61 | 1.6 | 60.7 | 8.2 | 4.9 | 13.1 | 0.0 | 0.0 | 8.2 | 3.3 | | |

3-3-1 地域との関わりを持ちたくない理由

問18-1 地域との関わりを持ちたくないのはなぜですか。【1つに○】

関わりを持ちたくない理由は「近所付き合いが苦手」が45.5%と最も高く、次いで「理由はない」が27.3%、「自分の生活や時間を大切にしたい」「その他」がともに9.1%となっています。



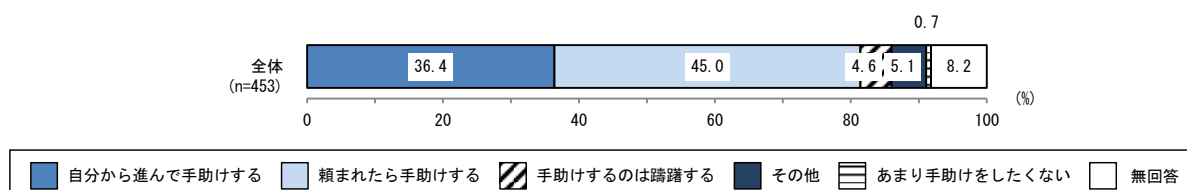
4 地域活動・ボランティア活動

4-1 手助けの積極性

問19 あなたは困っている方を見かけたとき、積極的に手助けしますか。【1つに○】

困っている人を見かけたとき、「頼まれたら手助けする」が45.0%と最も高く、次いで「自分から進んで手助けする」が36.4%、「その他」が5.1%となっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、80歳以上では「自分から進んで手助けする」「頼まれたら手助けする」が低くなっています。



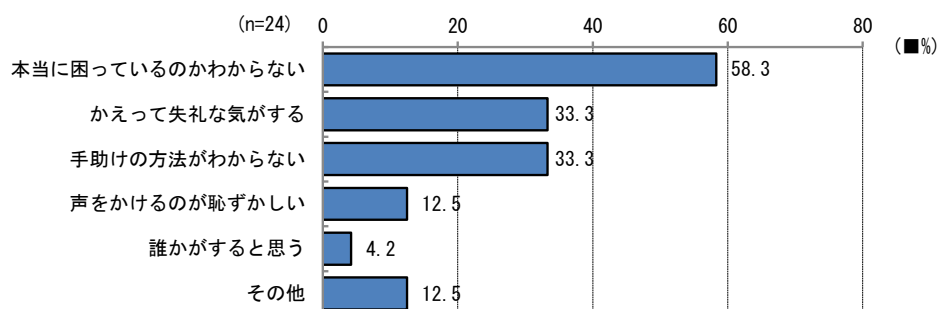
【年齢別】

| | 回答者数 | 自分から進んで手助けする | 頼まれたら手助けする | 手助けするのは躊躇する | その他 | あまり手助けをしたくない | 無回答 |
|-------|------|--------------|------------|-------------|------|--------------|-----|
| 全体 | 453 | 36.4 | 45.0 | 4.6 | 5.1 | 8.2 | 0.7 |
| 10歳代 | 17 | 35.3 | 41.2 | 5.9 | 0.0 | 17.6 | 0.0 |
| 20歳代 | 51 | 41.2 | 41.2 | 5.9 | 2.0 | 9.8 | 0.0 |
| 30歳代 | 72 | 40.3 | 48.6 | 5.6 | 1.4 | 2.8 | 1.4 |
| 40歳代 | 33 | 33.3 | 48.5 | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 0.0 |
| 50歳代 | 33 | 42.4 | 39.4 | 9.1 | 6.1 | 3.0 | 0.0 |
| 60歳代 | 88 | 30.7 | 55.7 | 2.3 | 5.7 | 5.7 | 0.0 |
| 70歳代 | 88 | 38.6 | 43.2 | 4.5 | 5.7 | 6.8 | 1.1 |
| 80歳以上 | 67 | 29.9 | 37.3 | 1.5 | 13.4 | 16.4 | 1.5 |

4-1-1 手助けを躊躇する理由

問19-1 手助けを躊躇する（したくない）理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

手助けを躊躇する理由は、「本当に困っているのかわからない」が58.3%と全体の過半数を占めており、次いで「かえって失礼な気がする」「手助けの方法がわからない」がともに33.3%となっています。



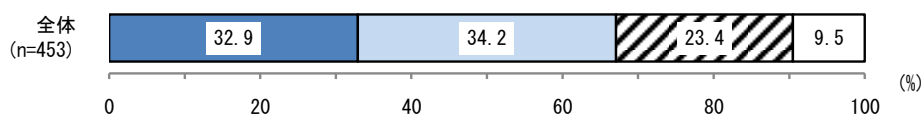
4-2 地域活動への参加

問20 あなたは現在、自治会や子ども会、PTA等の地域活動をしていますか【1つに○】

地域活動への参加について、「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」が34.2%と最も高く、次いで「現在活動している」が32.9%、「活動したことがない」が23.4%となっています。

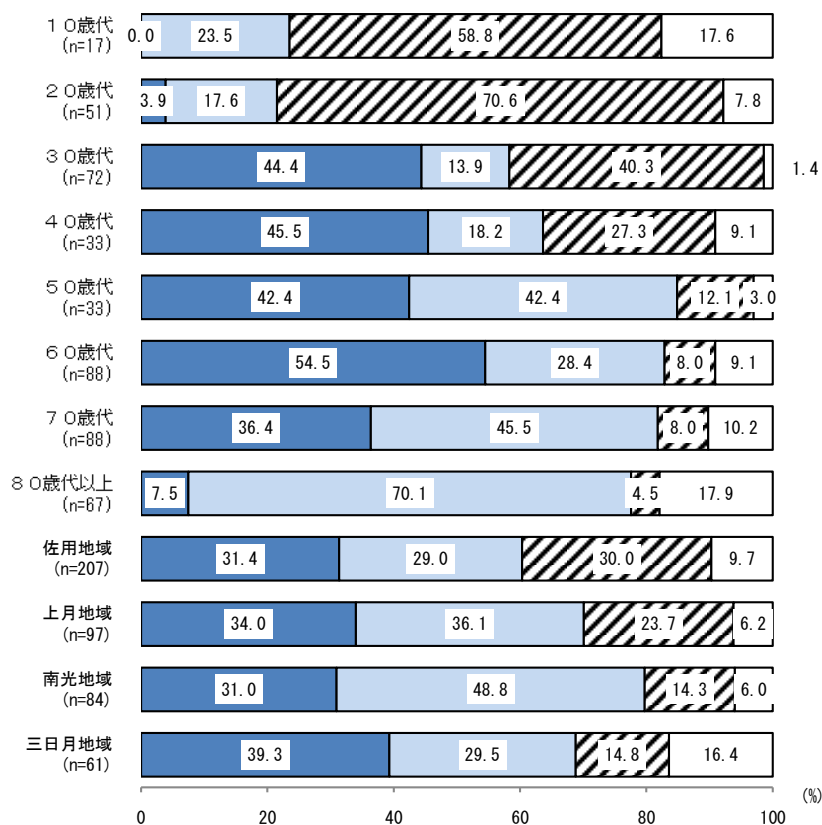
年齢別で見ると、他の年齢に比べて、10歳代、20歳代、80歳以上では「現在活動している」が低くなっています。活動経験がある人（「現在活動している」＋「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」）は、50歳以上がおよそ8割と高くなっています。

地域別で見ると、南光地域では、活動経験がある（「現在活動している」＋「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」）が高くなっています。



■ 現在活動している ■ 現在は活動していないが、過去に活動したことがある ■ 活動したことがない □ 無回答

【年齢別・地域別】

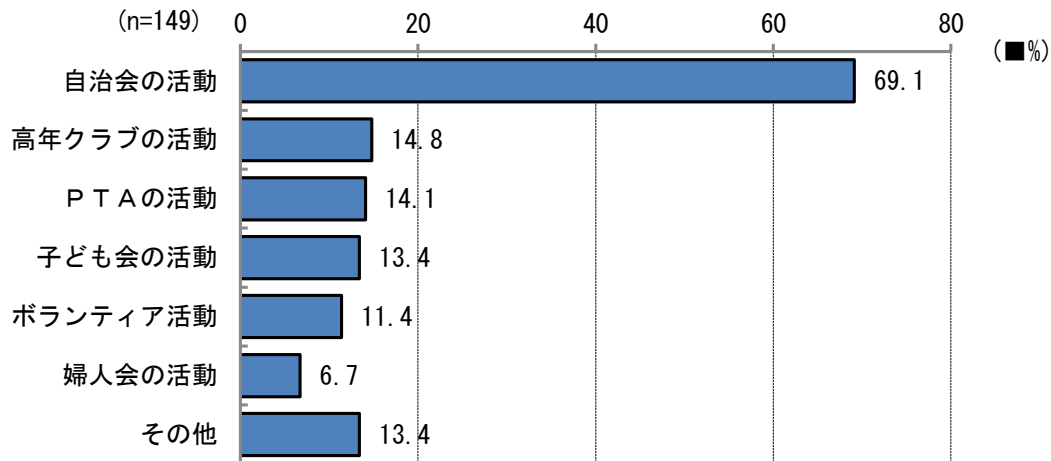


■ 現在活動している ■ 現在は活動していないが、過去に活動したことがある ■ 活動したことがない □ 無回答

4-2-1 具体的な活動内容

問20-1 どんな活動をしていますか【あてはまるものすべてに○】

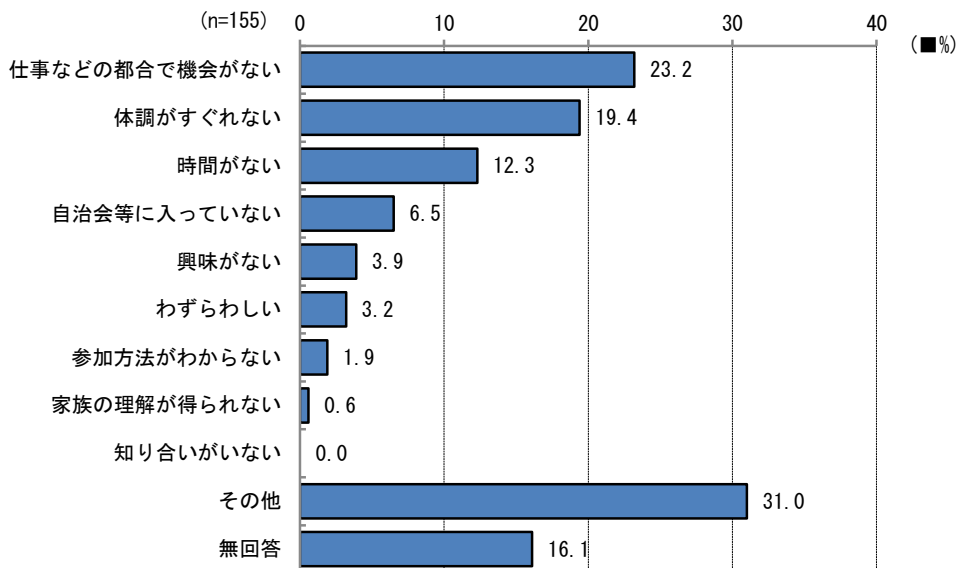
具体的な活動内容は、「自治会の活動」が69.1%と全体の大半を占めており、次いで「高年クラブの活動」が14.8%、「PTAの活動」が14.1%となっています。



4-2-2 活動していない理由

問20-2 現在活動していない理由は何ですか【あてはまるものすべてに○】

活動していない理由は「その他」を除くと「仕事などの都合で機会がない」が23.2%と最も高く、次いで「体調がすぐれない」が19.4%、「時間がない」が12.3%となっています。



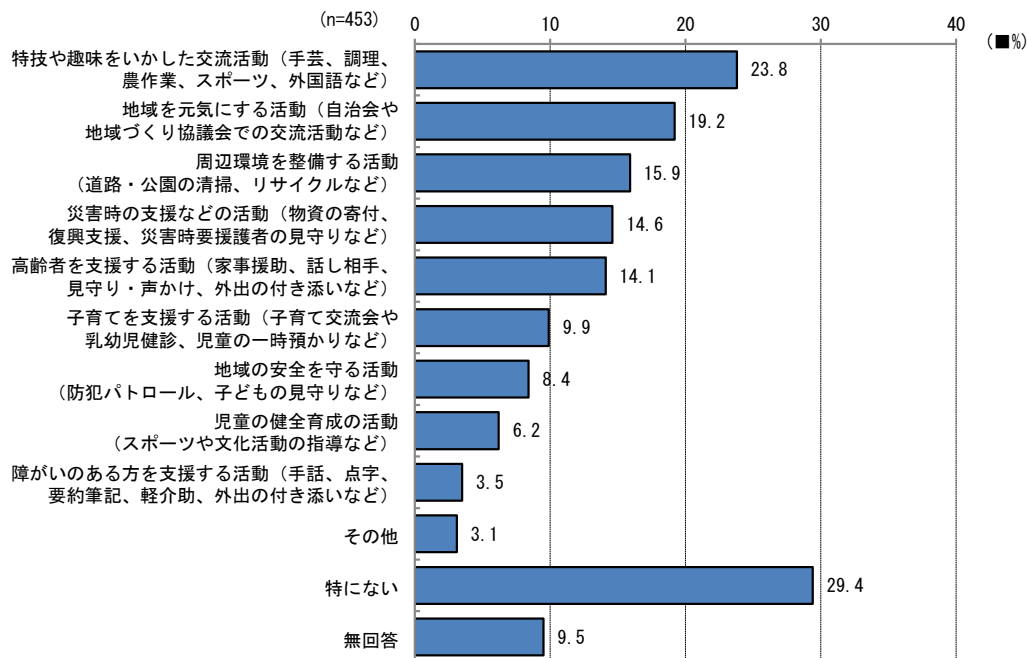
4-3 今後してみたい地域活動

問21 あなたが今後してみたい地域活動は何ですか。【3つまで○】

今後してみたい地域活動は、「特にない」を除くと「特技や趣味をいかした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語など）」が23.8%と最も高く、次いで「地域を元気にする活動（自治会や地域づくり協議会での交流活動など）」が19.2%、「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」が15.9%となっています。

性別で見ると、女性に比べて男性の方が「地域を元気にする活動（自治会や地域づくり協議会での交流活動など）」「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」が高くなっています。一方で、「子育てを支援する活動（子育て交流会や乳幼児健診、児童の一時預かりなど）」は男性より女性の方が高くなっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、50～70歳代では「地域を元気にする活動（自治会や地域づくり協議会での交流活動など）」が高くなっています。また、20～50歳代では、「子育てを支援する活動（子育て交流会や乳幼児健診、児童の一時預かりなど）」が高くなっています。



【性別・年齢別】

| | 回答者数 | 特技や趣味をいかした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語など） | 地域を元気にする活動（自治会や地域づくり協議会での交流活動など） | 周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど） | 災害時の支援などの活動（物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど） | 高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出の付き添いなど） | 子育てを支援する活動（子育て交流会や乳幼児健診、児童の一時預かりなど） | 地域の安全を守る活動（防犯パトロール、子どもの見守りなど） | 児童の健全育成の活動（スポーツや文化活動の指導など） | 障がいのある方を支援する活動（手話、点字、要約筆記、軽介助、外出の付き添いなど） | その他 | 特にない |
|-------|------|--------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|---|-------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|--|-----|------|
| 全体 | 453 | 23.8 | 19.2 | 15.9 | 14.6 | 14.1 | 9.9 | 8.4 | 6.2 | 3.5 | 3.1 | 29.4 |
| 男性 | 212 | 24.5 | 26.4 | 22.6 | 17.9 | 13.2 | 5.7 | 11.8 | 7.5 | 1.4 | 2.8 | 22.6 |
| 女性 | 239 | 23.4 | 13.0 | 10.0 | 11.7 | 15.1 | 13.4 | 5.4 | 5.0 | 5.4 | 3.3 | 35.6 |
| 10歳代 | 17 | 47.1 | 23.5 | 5.9 | 11.8 | 5.9 | 5.9 | 17.6 | 17.6 | 5.9 | 0.0 | 35.3 |
| 20歳代 | 51 | 29.4 | 11.8 | 11.8 | 19.6 | 7.8 | 19.6 | 0.0 | 15.7 | 3.9 | 0.0 | 27.5 |
| 30歳代 | 72 | 26.4 | 15.3 | 11.1 | 12.5 | 9.7 | 20.8 | 11.1 | 13.9 | 4.2 | 0.0 | 40.3 |
| 40歳代 | 33 | 27.3 | 12.1 | 21.2 | 21.2 | 21.2 | 18.2 | 18.2 | 3.0 | 6.1 | 0.0 | 24.2 |
| 50歳代 | 33 | 18.2 | 27.3 | 15.2 | 9.1 | 21.2 | 15.2 | 6.1 | 6.1 | 6.1 | 3.0 | 24.2 |
| 60歳代 | 88 | 22.7 | 30.7 | 28.4 | 15.9 | 15.9 | 4.5 | 9.1 | 3.4 | 2.3 | 1.1 | 21.6 |
| 70歳代 | 88 | 22.7 | 21.6 | 17.0 | 19.3 | 14.8 | 2.3 | 11.4 | 1.1 | 3.4 | 6.8 | 29.5 |
| 80歳以上 | 67 | 14.9 | 10.4 | 7.5 | 6.0 | 14.9 | 0.0 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 9.0 | 32.8 |

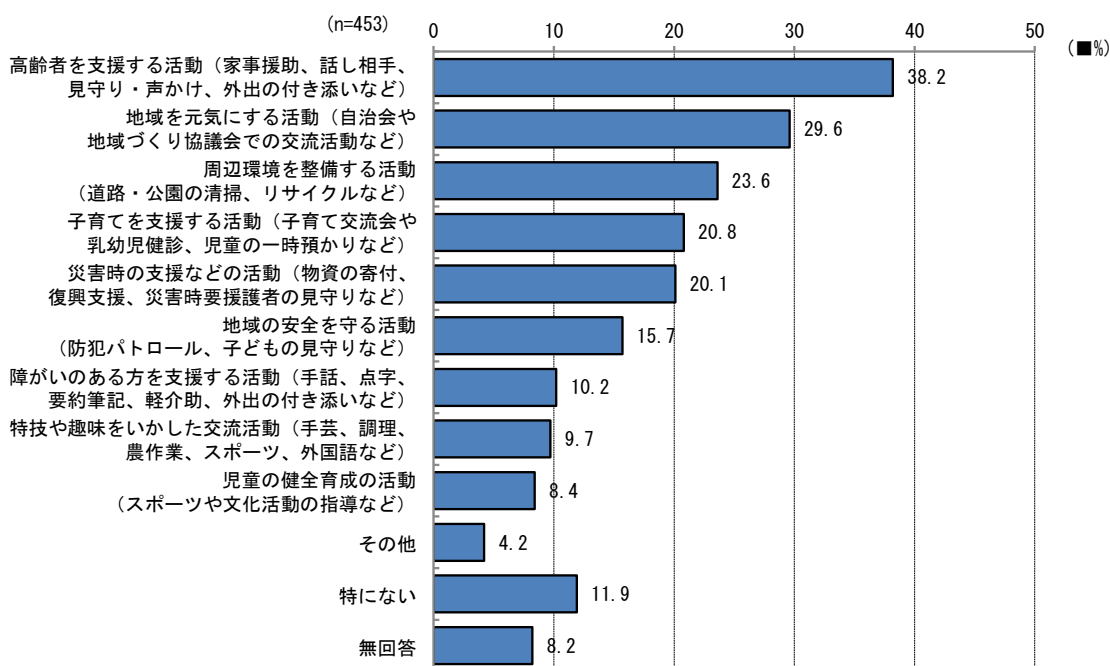
4-4 住民が考える佐用町に必要な地域活動

問22 あなたは佐用町に今後どのような地域活動が必要だと思いますか。【3つまで○】

佐用町に必要と考える地域活動は、「高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出の付き添いなど）」が38.2%と最も高く、次いで「地域を元気にする活動（自治会や地域づくり協議会での交流活動など）」が29.6%、「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」が23.6%となっています。

性別で見ると、男性に比べて女性の方が「周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど）」が高くなっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、20～40歳代では、「子育てを支援する活動（子育て交流会や乳幼児健診、児童の一時預かりなど）」が高くなっています。



【性別・年齢別】

| | 回答者数 | 高齢者を支援する活動（家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出の付き添いなど） | 地域を元気にする活動（自治会や地域づくり協議会での交流活動など） | 周辺環境を整備する活動（道路・公園の清掃、リサイクルなど） | 子育てを支援する活動（子育て交流会や乳幼児健診、児童の一時預かりなど） | 災害時の支援などの活動（物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど） | 地域の安全を守る活動（防犯パトロール、子どもの見守りなど） | 障がいのある方を支援する活動（手話、点字、要約筆記、軽介助、外出の付き添いなど） | 特技や趣味をいかした交流活動（手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語など） | 児童の健全育成の活動（スポーツや文化活動の指導など） | その他 | 特にない | 無回答 |
|-------|------|---|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|--|--------------------------------------|----------------------------|-----|------|------|
| 全体 | 453 | 38.2 | 29.6 | 23.6 | 20.8 | 20.1 | 15.7 | 10.2 | 9.7 | 8.4 | 4.2 | 11.9 | 8.2 |
| 男性 | 212 | 39.6 | 31.6 | 29.7 | 19.8 | 22.2 | 15.6 | 7.5 | 10.8 | 10.4 | 4.2 | 9.4 | 7.5 |
| 女性 | 239 | 37.2 | 28.0 | 18.4 | 21.8 | 18.4 | 15.9 | 12.6 | 8.8 | 6.3 | 4.2 | 14.2 | 8.4 |
| 10歳代 | 17 | 47.1 | 29.4 | 23.5 | 17.6 | 17.6 | 17.6 | 17.6 | 11.8 | 29.4 | 5.9 | 11.8 | 5.9 |
| 20歳代 | 51 | 37.3 | 19.6 | 23.5 | 33.3 | 21.6 | 13.7 | 15.7 | 9.8 | 9.8 | 2.0 | 11.8 | 5.9 |
| 30歳代 | 72 | 29.2 | 29.2 | 19.4 | 43.1 | 13.9 | 16.7 | 6.9 | 9.7 | 13.9 | 5.6 | 15.3 | 1.4 |
| 40歳代 | 33 | 33.3 | 27.3 | 30.3 | 30.3 | 27.3 | 24.2 | 9.1 | 12.1 | 9.1 | 3.0 | 9.1 | 9.1 |
| 50歳代 | 33 | 36.4 | 27.3 | 15.2 | 21.2 | 18.2 | 27.3 | 15.2 | 6.1 | 9.1 | 6.1 | 12.1 | 3.0 |
| 60歳代 | 88 | 42.0 | 37.5 | 35.2 | 15.9 | 14.8 | 11.4 | 9.1 | 6.8 | 4.5 | 6.8 | 9.1 | 6.8 |
| 70歳代 | 88 | 40.9 | 29.5 | 25.0 | 9.1 | 22.7 | 13.6 | 12.5 | 12.5 | 6.8 | 3.4 | 15.9 | 6.8 |
| 80歳以上 | 67 | 41.8 | 29.9 | 13.4 | 6.0 | 25.4 | 11.9 | 3.0 | 10.4 | 1.5 | 1.5 | 9.0 | 22.4 |

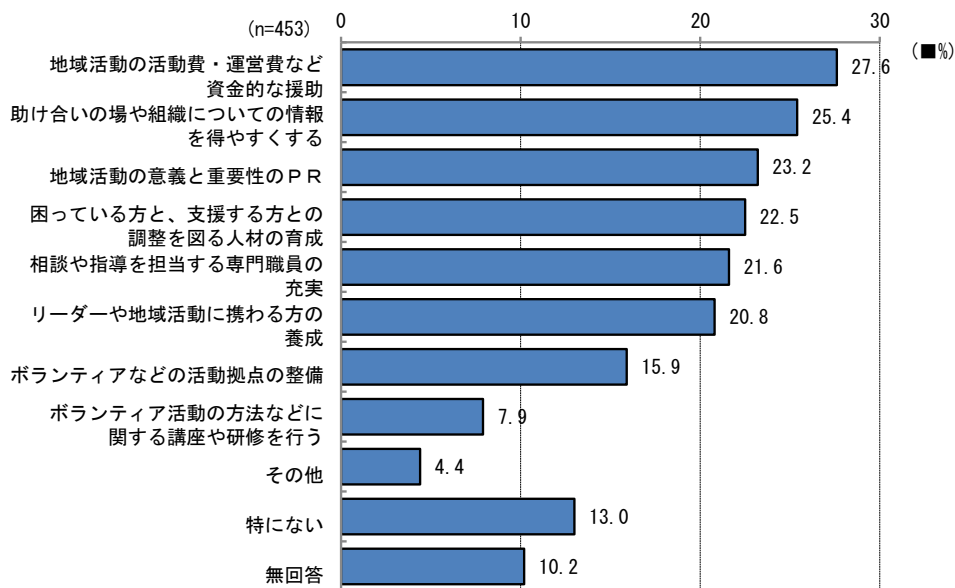
4-5 地域活動がより活発になるには

問23 問28・問29のような地域活動がより活発になるために、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで○】

地域活動がより活発になるには、「地域活動の活動費・運営費など資金的な援助」が27.6%と最も高く、次いで「助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が25.4%、「地域活動の意義と重要性のPR」が23.2%となっています。

性別で見ると、男性に比べて女性では、「地域活動の意義と重要性のPR」が高くなっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて60歳代では「リーダーや地域活動に携わる方の養成」が高く、60歳代と30歳代はともに「地域活動の活動費・運営費など資金的な援助」が高くなっています。



【性別・年齢別】

| | 回答者数 | 地域活動の活動費・運営費など資金的な援助 | 助け合いの場や組織についての情報を得やすくする | 地域活動の意義と重要性のPR | 困っている方と、支援する方との調整を図る人材の育成 | 相談や指導を担当する専門職員の充実 | リーダーや地域活動に携わる方の養成 | ボランティアなどの活動拠点の整備 | ボランティア活動の方法などに関する講座や研修を行う | その他 | 特にない | 無回答 |
|-------|------|----------------------|-------------------------|----------------|---------------------------|-------------------|-------------------|------------------|---------------------------|-----|------|------|
| 全体 | 453 | 27.6 | 25.4 | 23.2 | 22.5 | 21.6 | 20.8 | 15.9 | 7.9 | 4.4 | 13.0 | 10.2 |
| 男性 | 212 | 30.7 | 20.8 | 28.3 | 21.7 | 21.7 | 24.5 | 16.0 | 5.2 | 5.2 | 10.8 | 9.9 |
| 女性 | 239 | 25.1 | 29.7 | 18.8 | 23.4 | 21.8 | 17.2 | 15.9 | 10.5 | 3.8 | 15.1 | 10.0 |
| 10歳代 | 17 | 11.8 | 23.5 | 17.6 | 17.6 | 11.8 | 17.6 | 29.4 | 23.5 | 0.0 | 23.5 | 5.9 |
| 20歳代 | 51 | 27.5 | 33.3 | 25.5 | 19.6 | 25.5 | 11.8 | 19.6 | 13.7 | 0.0 | 11.8 | 7.8 |
| 30歳代 | 72 | 36.1 | 23.6 | 30.6 | 26.4 | 19.4 | 22.2 | 9.7 | 4.2 | 6.9 | 18.1 | 2.8 |
| 40歳代 | 33 | 24.2 | 27.3 | 18.2 | 33.3 | 24.2 | 18.2 | 15.2 | 6.1 | 6.1 | 9.1 | 15.2 |
| 50歳代 | 33 | 24.2 | 33.3 | 21.2 | 36.4 | 12.1 | 21.2 | 21.2 | 6.1 | 9.1 | 9.1 | 3.0 |
| 60歳代 | 88 | 34.1 | 19.3 | 19.3 | 26.1 | 29.5 | 31.8 | 22.7 | 8.0 | 3.4 | 8.0 | 5.7 |
| 70歳代 | 88 | 27.3 | 26.1 | 27.3 | 12.5 | 23.9 | 19.3 | 14.8 | 6.8 | 4.5 | 12.5 | 12.5 |
| 80歳以上 | 67 | 19.4 | 22.4 | 17.9 | 17.9 | 11.9 | 14.9 | 7.5 | 6.0 | 4.5 | 17.9 | 23.9 |

5 これからの福祉のあり方

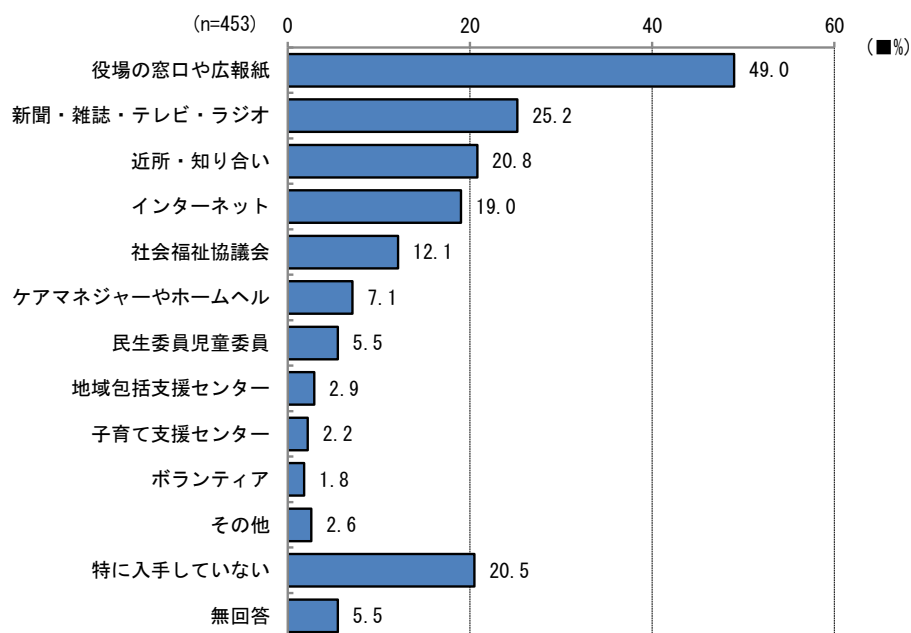
5-1 福祉に関する情報源

問24 あなたは福祉に関する情報を主にどこから入手していますか。【あてはまるものすべてに○】

福祉に関する情報源は「特に入手していない」を除くと「役場の窓口や広報紙」が49.0%と全体の約半数を占めており、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が25.2%、「近所・知り合い」が20.8%となっています。

性別で見ると、男性に比べて女性は「特に入手していない」が高くなっています。また、男性は女性に比べて、「役場の窓口や広報紙」「社会福祉協議会」が高くなっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、10～40歳代は「特に入手していない」と「インターネット」が高くなっています。



【性別・年齢別】

| | 回答者数 | 役場の窓口や広報紙 | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | 近所・知り合い | インターネット | 社会福祉協議会 | ケアマネジャーやホームヘルパー | 民生委員児童委員 | 地域包括支援センター | 子育て支援センター | ボランティア | その他 | 特に入手していない | 無回答 |
|-------|------|-----------|---------------|---------|---------|---------|-----------------|----------|------------|-----------|--------|-----|-----------|------|
| 全体 | 453 | 49.0 | 25.2 | 20.8 | 19.0 | 12.1 | 7.1 | 5.5 | 2.9 | 2.2 | 1.8 | 2.6 | 20.5 | 5.5 |
| 男性 | 212 | 53.8 | 26.4 | 20.3 | 21.2 | 17.9 | 8.0 | 5.7 | 2.4 | 0.9 | 2.8 | 3.8 | 15.6 | 5.2 |
| 女性 | 239 | 45.2 | 23.8 | 21.3 | 17.2 | 7.1 | 6.3 | 5.4 | 3.3 | 3.3 | 0.8 | 1.7 | 25.1 | 5.4 |
| 10歳代 | 17 | 5.9 | 23.5 | 17.6 | 35.3 | 5.9 | 0.0 | 5.9 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 41.2 | 0.0 |
| 20歳代 | 51 | 31.4 | 23.5 | 13.7 | 35.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.9 | 0.0 | 3.9 | 33.3 | 3.9 |
| 30歳代 | 72 | 43.1 | 16.7 | 16.7 | 31.9 | 8.3 | 1.4 | 2.8 | 1.4 | 11.1 | 2.8 | 1.4 | 31.9 | 2.8 |
| 40歳代 | 33 | 60.6 | 21.2 | 6.1 | 33.3 | 9.1 | 6.1 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.1 | 21.2 | 3.0 |
| 50歳代 | 33 | 54.5 | 24.2 | 21.2 | 18.2 | 15.2 | 9.1 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 6.1 | 12.1 | 0.0 |
| 60歳代 | 88 | 52.3 | 35.2 | 22.7 | 21.6 | 13.6 | 12.5 | 5.7 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 2.3 | 18.2 | 3.4 |
| 70歳代 | 88 | 65.9 | 29.5 | 23.9 | 3.4 | 18.2 | 5.7 | 9.1 | 3.4 | 0.0 | 5.7 | 0.0 | 13.6 | 10.2 |
| 80歳以上 | 67 | 46.3 | 19.4 | 32.8 | 0.0 | 17.9 | 14.9 | 10.4 | 9.0 | 0.0 | 1.5 | 4.5 | 10.4 | 9.0 |

5-2 安心して暮らすための支援

問25 あなたは佐用町で生涯を安心して暮らしていくためには、どのような支援のあり方が大切だと思いますか。【3つまで○】

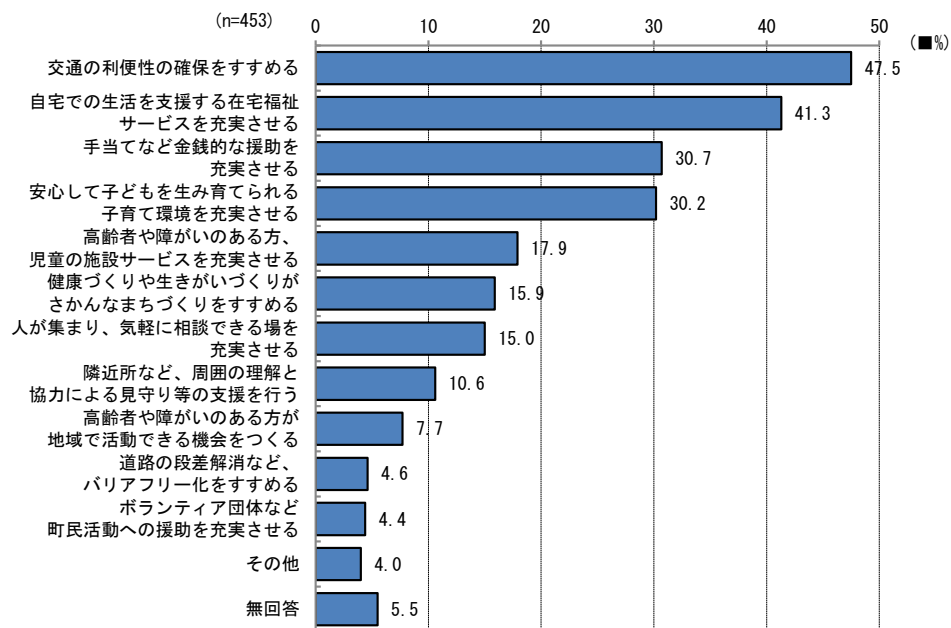
安心して暮らしていくための支援は、「交通の利便性の確保をすすめる」が47.5%と全体の約半数を占めており、次いで「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」が41.3%、「手当など金銭的な援助を充実させる」が30.7%となっています。

性別で見ると、女性に比べて男性は「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」「手当など金銭的な援助を充実させる」が高くなっています。

年齢別で見ると、10歳代を除いて、年齢が若いほど「手当など金銭的な援助を充実させる」「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が高くなっています。

地域別で見ると、他の地域に比べて、三日月地域では「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が高くなっています。

同居者別で見ると、他の世帯に比べて、夫婦のみの世帯では、「交通の利便性の確保をすすめる」「自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる」が高くなっています。



【性別・年齢】

| | 回答者数 | 交通の利便性の確保をすすめる | 在宅福祉サービスの充実させる | 自宅での生活を支援 | 援助を充実させる | 環境を充実させる | 安心して子育てできる環境を充実させる | 子育て支援を充実させる | 高齢者や障がいのある方、児童の施設を充実させる | まちづくりが生きがいを創出する | 健康づくりが生きがいを創出する | 相談できる場を充実させる | 人が集まり、気軽に話せる場を充実させる | 隣近所など、周囲の理解と協力による見守り等の支援を行う | 高齢者が地域で活動できる機会をつくる | 高齢者が障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる | 道路の段差解消などをすすめる | ボランティア団体など市民活動への援助を充実させる | その他 | 無回答 |
|-------|------|----------------|----------------|-----------|----------|----------|--------------------|-------------|-------------------------|-----------------|-----------------|--------------|---------------------|-----------------------------|--------------------|----------------------------|----------------|--------------------------|-----|-----|
| 全体 | 453 | 47.5 | 41.3 | 30.7 | 30.2 | 17.9 | 15.9 | 15.0 | 10.6 | 7.7 | 4.6 | 4.4 | 4.0 | 5.5 | | | | | | |
| 男性 | 212 | 47.2 | 44.8 | 33.5 | 29.7 | 16.0 | 14.2 | 16.5 | 9.0 | 8.5 | 4.7 | 5.7 | 2.4 | 5.2 | | | | | | |
| 女性 | 239 | 48.1 | 38.5 | 28.5 | 30.5 | 19.7 | 17.6 | 13.8 | 12.1 | 7.1 | 4.6 | 3.3 | 5.4 | 5.4 | | | | | | |
| 10歳代 | 17 | 58.8 | 17.6 | 23.5 | 29.4 | 29.4 | 11.8 | 5.9 | 11.8 | 11.8 | 23.5 | 0.0 | 5.9 | 5.9 | | | | | | |
| 20歳代 | 51 | 47.1 | 25.5 | 47.1 | 43.1 | 27.5 | 25.5 | 11.8 | 19.6 | 2.0 | 7.8 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | | | | | | |
| 30歳代 | 72 | 34.7 | 20.8 | 45.8 | 51.4 | 19.4 | 8.3 | 6.9 | 8.3 | 4.2 | 9.7 | 4.2 | 5.6 | 4.2 | | | | | | |
| 40歳代 | 33 | 60.6 | 48.5 | 36.4 | 33.3 | 9.1 | 18.2 | 18.2 | 3.0 | 3.0 | 6.1 | 0.0 | 9.1 | 3.0 | | | | | | |
| 50歳代 | 33 | 63.6 | 51.5 | 39.4 | 36.4 | 21.2 | 12.1 | 9.1 | 9.1 | 12.1 | 0.0 | 0.0 | 6.1 | 0.0 | | | | | | |
| 60歳代 | 88 | 59.1 | 44.3 | 25.0 | 21.6 | 17.0 | 13.6 | 15.9 | 9.1 | 8.0 | 2.3 | 5.7 | 3.4 | 4.5 | | | | | | |
| 70歳代 | 88 | 46.6 | 50.0 | 21.6 | 25.0 | 13.6 | 19.3 | 19.3 | 12.5 | 6.8 | 1.1 | 8.0 | 3.4 | 6.8 | | | | | | |
| 80歳以上 | 67 | 29.9 | 58.2 | 16.4 | 10.4 | 13.4 | 17.9 | 23.9 | 10.4 | 16.4 | 1.5 | 6.0 | 3.0 | 13.4 | | | | | | |

【地域別・世帯別】

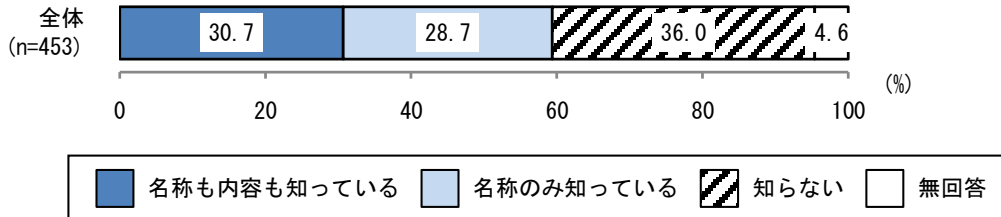
| | 回答者数 | 交通の利便性の確保をすすめる | 在宅福祉サービスの充実させる | 自宅での生活を支援 | 援助を充実させる | 環境を充実させる | 安心して子育てできる環境を充実させる | 子育て支援を充実させる | 高齢者や障がいのある方、児童の施設を充実させる | まちづくりが生きがいを創出する | 健康づくりが生きがいを創出する | 相談できる場を充実させる | 人が集まり、気軽に話せる場を充実させる | 隣近所など、周囲の理解と協力による見守り等の支援を行う | 高齢者が地域で活動できる機会をつくる | 高齢者が障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる | 道路の段差解消などをすすめる | ボランティア団体など市民活動への援助を充実させる | その他 | 無回答 |
|-----------|------|----------------|----------------|-----------|----------|----------|--------------------|-------------|-------------------------|-----------------|-----------------|--------------|---------------------|-----------------------------|--------------------|----------------------------|----------------|--------------------------|-----|-----|
| 全体 | 453 | 47.5 | 41.3 | 30.7 | 30.2 | 17.9 | 15.9 | 15.0 | 10.6 | 7.7 | 4.6 | 4.4 | 4.0 | 5.5 | | | | | | |
| 佐用地域 | 207 | 48.3 | 38.2 | 29.5 | 30.0 | 23.2 | 17.4 | 18.8 | 8.7 | 6.8 | 5.8 | 3.9 | 3.4 | 4.8 | | | | | | |
| 上月地域 | 97 | 52.6 | 40.2 | 32.0 | 29.9 | 10.3 | 15.5 | 12.4 | 14.4 | 6.2 | 5.2 | 5.2 | 5.2 | 4.1 | | | | | | |
| 南光地域 | 84 | 42.9 | 51.2 | 33.3 | 20.2 | 17.9 | 10.7 | 10.7 | 11.9 | 8.3 | 2.4 | 3.6 | 4.8 | 7.1 | | | | | | |
| 三日月地域 | 61 | 42.6 | 41.0 | 29.5 | 44.3 | 11.5 | 19.7 | 13.1 | 9.8 | 13.1 | 3.3 | 4.9 | 1.6 | 6.6 | | | | | | |
| ひとり暮らし | 40 | 42.5 | 40.0 | 27.5 | 5.0 | 17.5 | 17.5 | 35.0 | 10.0 | 12.5 | 7.5 | 5.0 | 7.5 | 10.0 | | | | | | |
| 夫婦のみ | 100 | 59.0 | 53.0 | 25.0 | 28.0 | 15.0 | 14.0 | 15.0 | 11.0 | 8.0 | 1.0 | 7.0 | 3.0 | 4.0 | | | | | | |
| 親子(親族含) | 201 | 45.8 | 36.8 | 37.3 | 35.8 | 18.9 | 18.4 | 14.4 | 10.0 | 6.0 | 6.0 | 3.0 | 3.0 | 4.5 | | | | | | |
| 三世代(親族含む) | 77 | 42.9 | 42.9 | 20.8 | 29.9 | 20.8 | 14.3 | 9.1 | 15.6 | 9.1 | 5.2 | 2.6 | 2.6 | 6.5 | | | | | | |
| ひとり親と子ども | 10 | 50.0 | 40.0 | 30.0 | 50.0 | 0.0 | 20.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 | | | | | | |
| その他 | 16 | 43.8 | 37.5 | 25.0 | 12.5 | 25.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 12.5 | 25.0 | 6.3 | | | | | | |

5-3 成年後見人制度の認知度

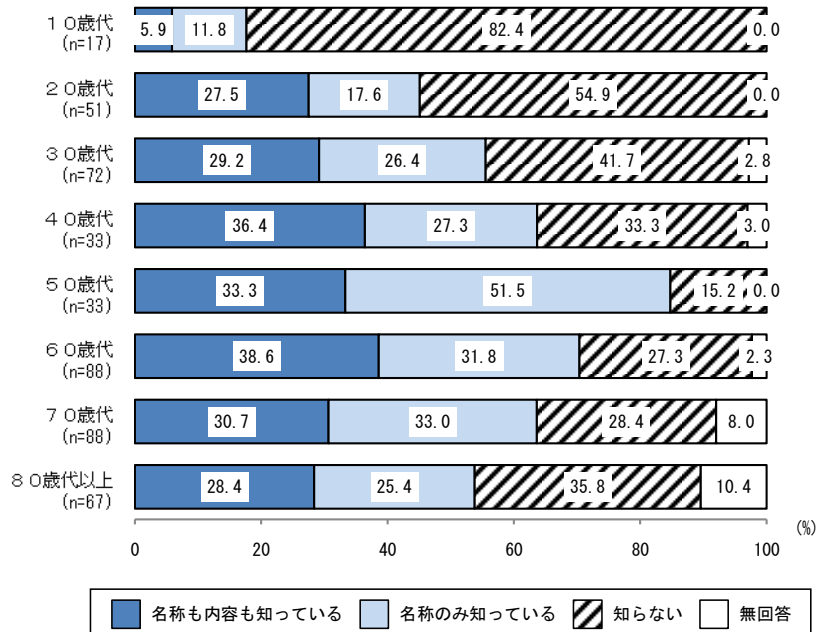
問26 あなたは、成年後見制度を知っていますか。【1つに○】

成年後見人制度の認知度は、「知らない」が36.0%と最も高く、次いで「名称も内容も知っている」が30.7%、「名称のみ知っている」が28.7%となっています。

年齢別で見ると、成年後見制度を知っている人（「名称も内容も知っている」+名称のみ知っている）は、20歳代から50歳代にかけて年齢が上がるごとに増加し、50歳代から80歳以上にかけて、年齢が上がるごとに減少しています。



【年齢別】

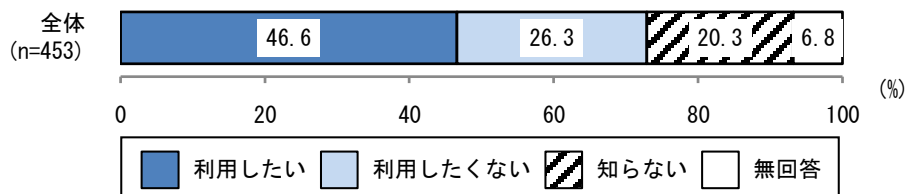


5-4 認知症と成年後見人制度

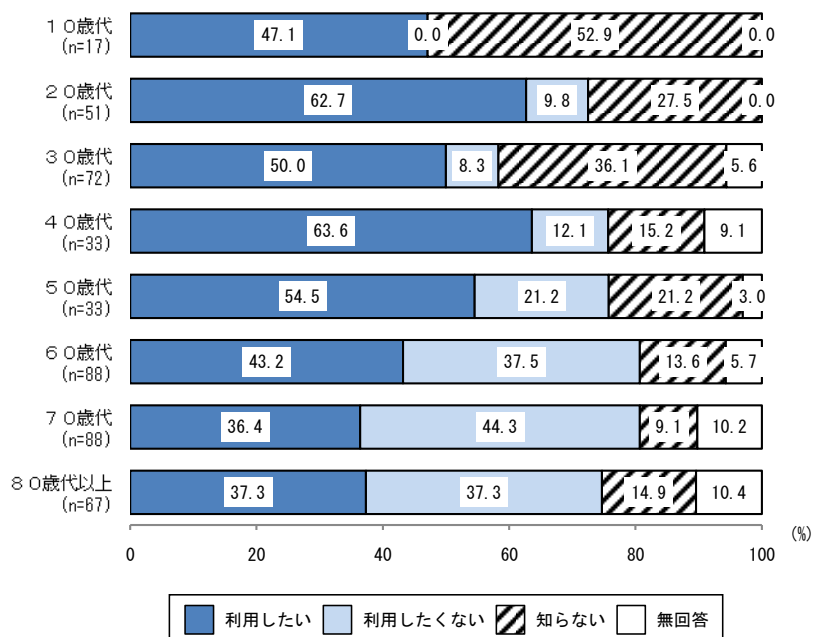
問27 あなた自身や親族が、認知症により判断が十分にできなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。【1つに○】

成年後見制度の利用について、「利用したい」が46.6%と最も高く、次いで「利用したくない」が26.3%、「知らない」が20.3%となっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、70歳代、80歳以上では「利用したい」が低くなっています。



【年齢別】



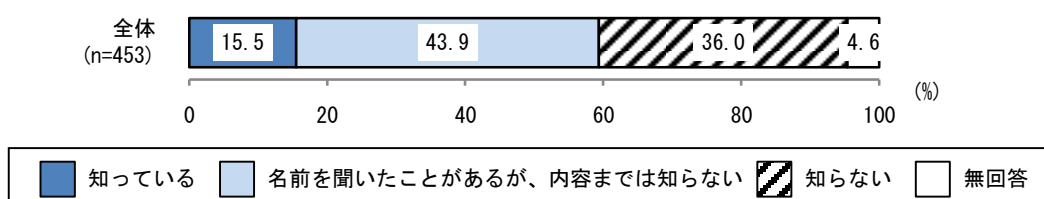
6 生活困窮者の支援のあり方

6-1 生活困窮者自立支援制度の認知度

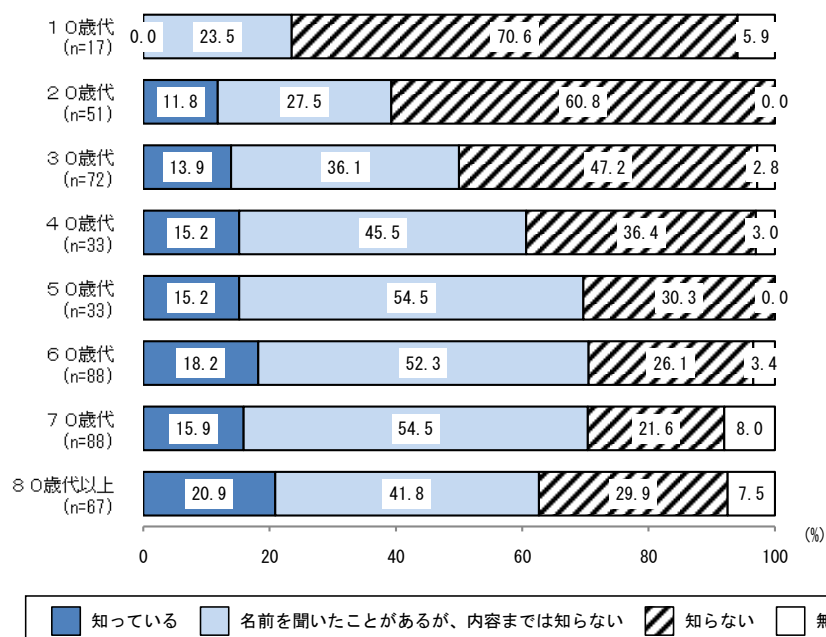
問28 あなたは生活困窮者自立支援制度を知っていますか。【1つに○】

生活困窮者自立支援制度の認知度は、「名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない」が43.9%と最も高く、次いで「知らない」が36.0%、「知っている」が15.5%となっています。

年齢別で見ると、生活困窮者自立支援制度を知っている人（「知っている」＋「名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない」）は50～70歳代で高くなっています。



【年齢別】

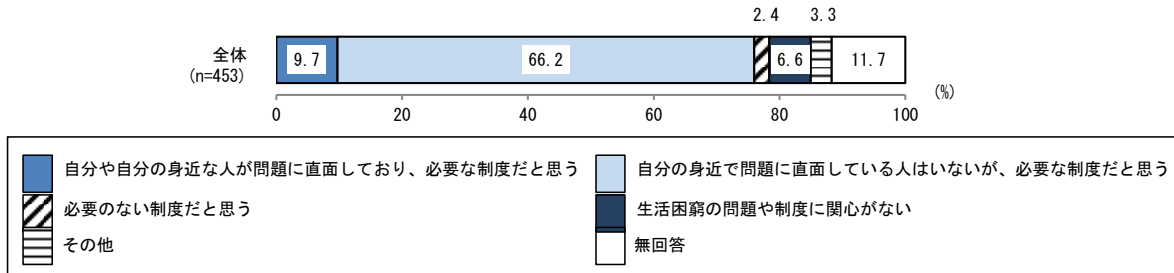


6-2 生活困窮問題と支援制度への関心

問29 あなたは生活困窮の問題や支援制度についてどう思われますか。【1つに○】

生活困窮問題と支援制度への関心は、「自分の身近で問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う」が66.2%と全体の大半を占めており、次いで「自分や自分の身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う」が9.7%、「生活困窮の問題や制度に関心がない」が6.6%となっています。

年齢や同居者にかかわらず、「自分の身近で問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う」が高くなっています。



【年齢別・同居者別】

| | 回答者数 | 必要のない制度だと思う | 自分や自分の身近で問題に直面しており、必要な制度だと思う | 自分の身近で問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う | 生活困窮の問題や制度に関心がない | その他 | 無回答 |
|-----------|------|-------------|------------------------------|---------------------------------|------------------|-----|------|
| 全体 | 453 | 2.4 | 9.7 | 66.2 | 6.6 | 3.3 | 11.7 |
| 10歳代 | 17 | 11.8 | 0.0 | 70.6 | 11.8 | 0.0 | 5.9 |
| 20歳代 | 51 | 0.0 | 9.8 | 78.4 | 7.8 | 0.0 | 3.9 |
| 30歳代 | 72 | 5.6 | 2.8 | 70.8 | 9.7 | 2.8 | 8.3 |
| 40歳代 | 33 | 3.0 | 9.1 | 66.7 | 12.1 | 3.0 | 6.1 |
| 50歳代 | 33 | 3.0 | 6.1 | 81.8 | 3.0 | 3.0 | 3.0 |
| 60歳代 | 88 | 3.4 | 12.5 | 63.6 | 3.4 | 4.5 | 12.5 |
| 70歳代 | 88 | 0.0 | 14.8 | 62.5 | 5.7 | 3.4 | 13.6 |
| 80歳以上 | 67 | 0.0 | 11.9 | 52.2 | 6.0 | 6.0 | 23.9 |
| ひとり暮らし | 40 | 0.0 | 20.0 | 55.0 | 5.0 | 2.5 | 17.5 |
| 夫婦のみ | 100 | 2.0 | 9.0 | 73.0 | 4.0 | 3.0 | 9.0 |
| 親子(親族含) | 201 | 2.5 | 9.5 | 65.7 | 9.0 | 3.0 | 10.4 |
| 三世代(親族含む) | 77 | 3.9 | 5.2 | 71.4 | 3.9 | 5.2 | 10.4 |
| ひとり親と子ども | 10 | 0.0 | 10.0 | 60.0 | 10.0 | 0.0 | 20.0 |
| その他 | 16 | 0.0 | 18.8 | 43.8 | 12.5 | 6.3 | 18.8 |

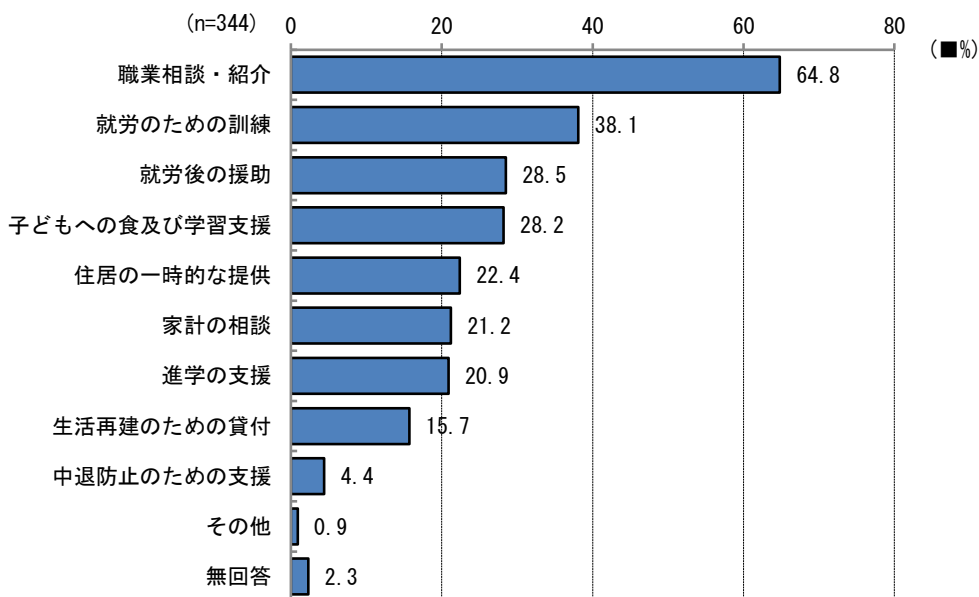
6-2-1 注力すべき支援内容

問29-1 生活困窮の問題や支援制度について、具体的にどのような支援に力を入れる必要があると思いますか。【3つまで○】

注力すべき支援内容は、「職業相談・紹介」が64.8%と全体の大半を占めており、次いで「就労のための訓練」が38.1%、「就労後の援助」が28.5%となっています。

性別、年齢にかかわらず「職業相談・紹介」が高くなっています。

また、性別で見ると、女性に比べて男性は「就労のための訓練」が高く、男性に比べて女性は「住居の一時的な提供」が高くなっています。



【性別・年齢別】

| | 回答者数 | 職業相談・紹介 | 就労のための訓練 | 就労後の援助 | 子どもへの食及び学習支援 | 住居の一時的な提供 | 家計の相談 | 進学への支援 | 生活再建のための貸付 | 中退防止のための支援 | その他 | 無回答 |
|-------|------|---------|----------|--------|--------------|-----------|-------|--------|------------|------------|-----|-----|
| 全体 | 344 | 64.8 | 38.1 | 28.5 | 28.2 | 22.4 | 21.2 | 20.9 | 15.7 | 4.4 | 0.9 | 2.3 |
| 男性 | 161 | 65.2 | 41.0 | 29.2 | 27.3 | 17.4 | 19.9 | 18.6 | 18.6 | 3.1 | 1.2 | 2.5 |
| 女性 | 182 | 64.8 | 35.7 | 27.5 | 29.1 | 26.9 | 22.0 | 23.1 | 13.2 | 5.5 | 0.5 | 2.2 |
| 10歳代 | 12 | 33.3 | 33.3 | 25.0 | 33.3 | 25.0 | 16.7 | 50.0 | 25.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 |
| 20歳代 | 45 | 75.6 | 46.7 | 33.3 | 42.2 | 24.4 | 13.3 | 22.2 | 8.9 | 4.4 | 0.0 | 0.0 |
| 30歳代 | 53 | 69.8 | 41.5 | 30.2 | 28.3 | 18.9 | 20.8 | 30.2 | 11.3 | 3.8 | 0.0 | 0.0 |
| 40歳代 | 25 | 56.0 | 44.0 | 28.0 | 56.0 | 16.0 | 20.0 | 32.0 | 8.0 | 0.0 | 0.0 | 4.0 |
| 50歳代 | 29 | 58.6 | 48.3 | 17.2 | 37.9 | 27.6 | 27.6 | 17.2 | 13.8 | 6.9 | 0.0 | 0.0 |
| 60歳代 | 67 | 73.1 | 32.8 | 28.4 | 19.4 | 28.4 | 17.9 | 20.9 | 19.4 | 3.0 | 3.0 | 1.5 |
| 70歳代 | 68 | 60.3 | 39.7 | 29.4 | 25.0 | 17.6 | 22.1 | 16.2 | 17.6 | 5.9 | 1.5 | 2.9 |
| 80歳以上 | 43 | 60.5 | 23.3 | 27.9 | 9.3 | 20.9 | 27.9 | 4.7 | 23.3 | 2.3 | 0.0 | 9.3 |

7 非行や犯罪をした人の立ち直り

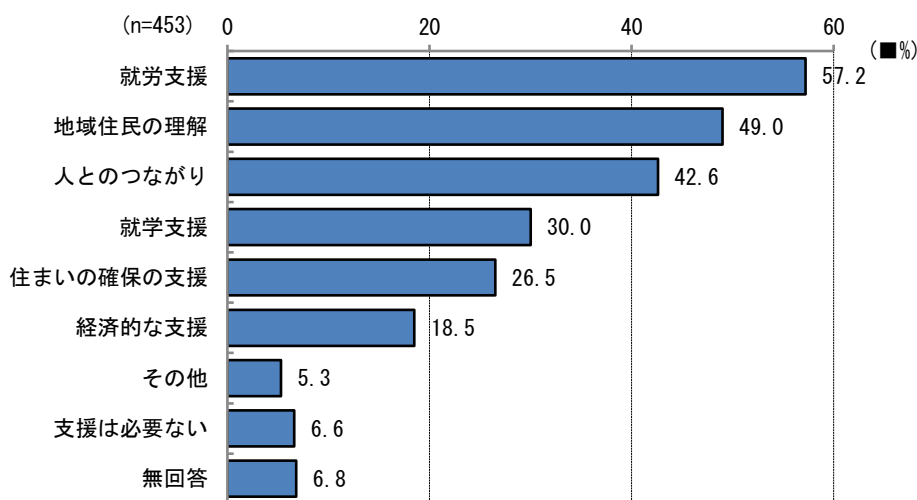
7-1 立ち直りに必要な支援

問30 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか【あてはまるものすべてに○】

立ち直りに必要な支援は、「支援は必要ない」を除くと、「就労支援」が57.2%と全体の過半数を占めており、次いで「地域住民の理解」が49.0%、「人とのつながり」が42.6%となっています。

性別で見ると、男性に比べて女性は「就労支援」「地域住民の理解」が高くなっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて50～80歳以上では「地域住民の理解」が高くなっています。



【性別・年齢別】

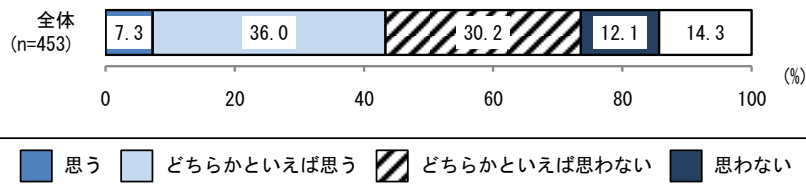
| | 回答者数 | 就労支援 | 地域住民の理解 | 人とのつながり | 就学支援 | 住まいの確保の支援 | 経済的な支援 | その他 | 支援は必要ない | 無回答 |
|-------|------|------|---------|---------|------|-----------|--------|------|---------|------|
| 全体 | 453 | 57.2 | 49.0 | 42.6 | 30.0 | 26.5 | 18.5 | 5.3 | 6.6 | 6.8 |
| 男性 | 212 | 51.9 | 45.8 | 40.6 | 29.7 | 23.1 | 21.2 | 6.1 | 8.0 | 6.6 |
| 女性 | 239 | 61.9 | 52.3 | 44.8 | 30.1 | 29.7 | 16.3 | 4.6 | 5.4 | 6.7 |
| 10歳代 | 17 | 47.1 | 41.2 | 35.3 | 23.5 | 23.5 | 23.5 | 5.9 | 17.6 | 5.9 |
| 20歳代 | 51 | 66.7 | 41.2 | 45.1 | 41.2 | 33.3 | 15.7 | 3.9 | 9.8 | 0.0 |
| 30歳代 | 72 | 50.0 | 38.9 | 37.5 | 27.8 | 25.0 | 15.3 | 6.9 | 9.7 | 5.6 |
| 40歳代 | 33 | 66.7 | 24.2 | 39.4 | 45.5 | 18.2 | 18.2 | 3.0 | 12.1 | 6.1 |
| 50歳代 | 33 | 69.7 | 69.7 | 48.5 | 39.4 | 30.3 | 18.2 | 12.1 | 0.0 | 0.0 |
| 60歳代 | 88 | 58.0 | 53.4 | 46.6 | 28.4 | 22.7 | 21.6 | 9.1 | 3.4 | 2.3 |
| 70歳代 | 88 | 59.1 | 53.4 | 50.0 | 23.9 | 28.4 | 12.5 | 2.3 | 8.0 | 10.2 |
| 80歳以上 | 67 | 44.8 | 59.7 | 32.8 | 20.9 | 28.4 | 28.4 | 1.5 | 1.5 | 17.9 |

7-2 支援の協力に対する積極性

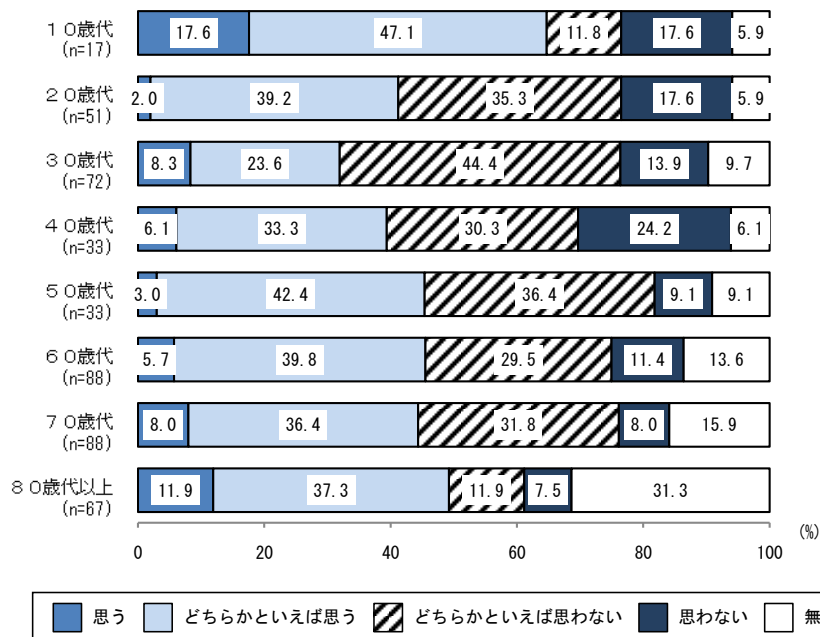
問3 1 あなたは、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。【1つに○】

支援の協力に対する積極性は、「どちらかといえば思う」が36.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば思わない」が30.2%、「思わない」が12.1%となっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて30歳代では「どちらかといえば思わない」が高くなっています。



【年齢別】

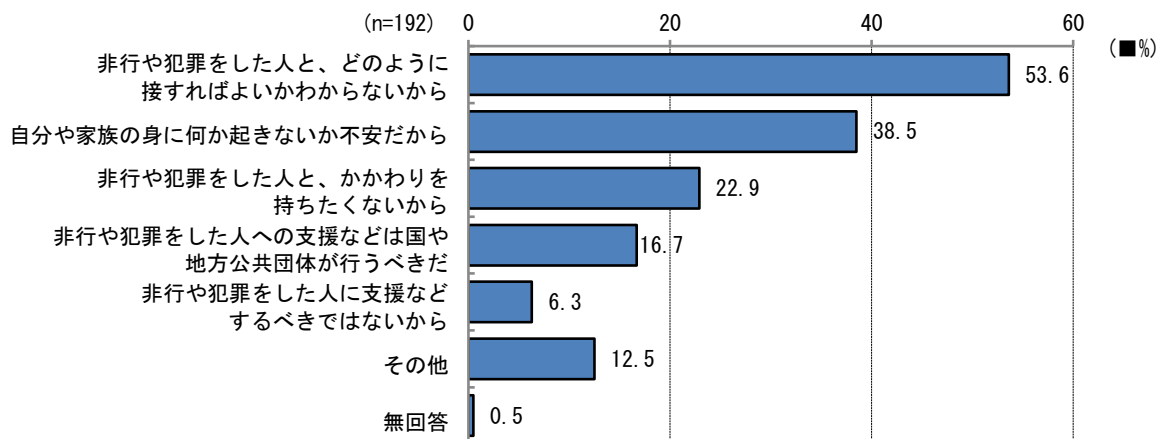


7-2-1 協力したくない理由

問3 1-1 協力したいと思わない理由を教えてください。【あてはまるものすべてに○】

協力したくない理由は、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が53.6%と全体の約半数を占めており、次いで「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が38.5%、「非行や犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから」が22.9%となっています。

性別で見ると、男性に比べて女性は「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が高く、女性に比べて男性は「非行や犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから」が高くなっています。



【性別】

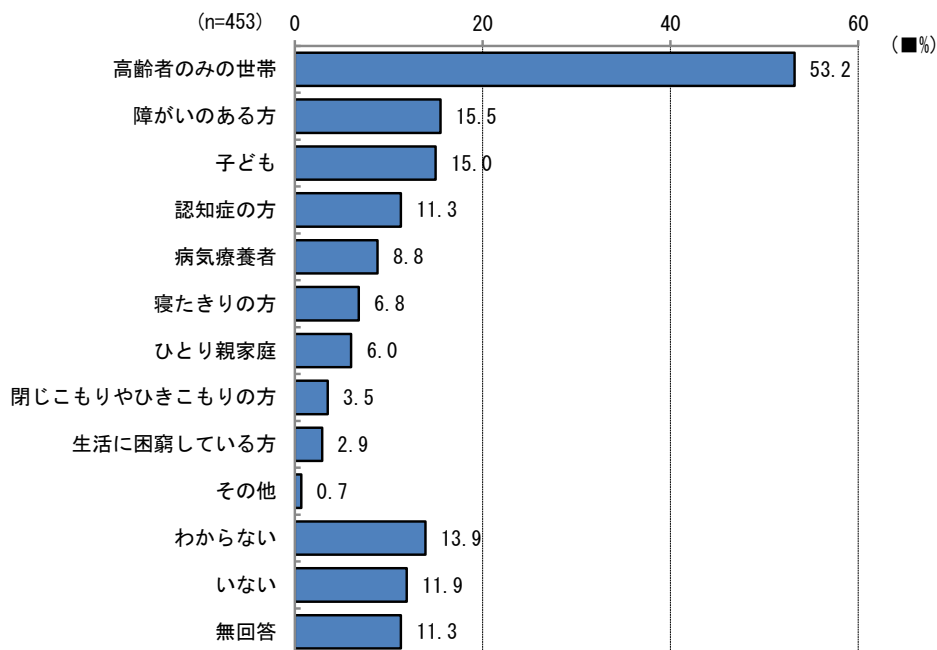
| | 回答者数 | 不知道怎么接 | 自分や家族の身に何か起きないか不安だから | かかわりを持ちたくないから | 支援などは国や地方公共団体が行うべきだ | 非行や犯罪をした人に支援などするべきではないから | その他 | 無回答 |
|----|------|--------|----------------------|---------------|---------------------|--------------------------|------|-----|
| 全体 | 192 | 53.6 | 38.5 | 22.9 | 16.7 | 6.3 | 12.5 | 0.5 |
| 男性 | 90 | 47.8 | 32.2 | 30.0 | 14.4 | 5.6 | 12.2 | 1.1 |
| 女性 | 101 | 59.4 | 43.6 | 16.8 | 18.8 | 6.9 | 12.9 | 0.0 |

8 防災・災害

8-1 災害時、近所に支援を必要とする住民

問32 あなたの近所には、災害時に、特に見守りを必要とする方や気にかかる方がいますか。【あてはまるものすべてに○】

災害時、近所に支援を必要とする住民は「いない」を除くと「高齢者のみの世帯」が53.2%と全体の約半数を占めており、次いで「障がいのある方」が15.5%、「子ども」が15.0%となっています。

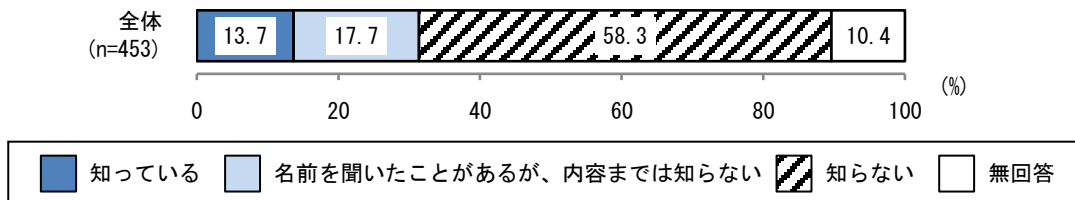


8-2 避難行動要支援者名簿の認知度

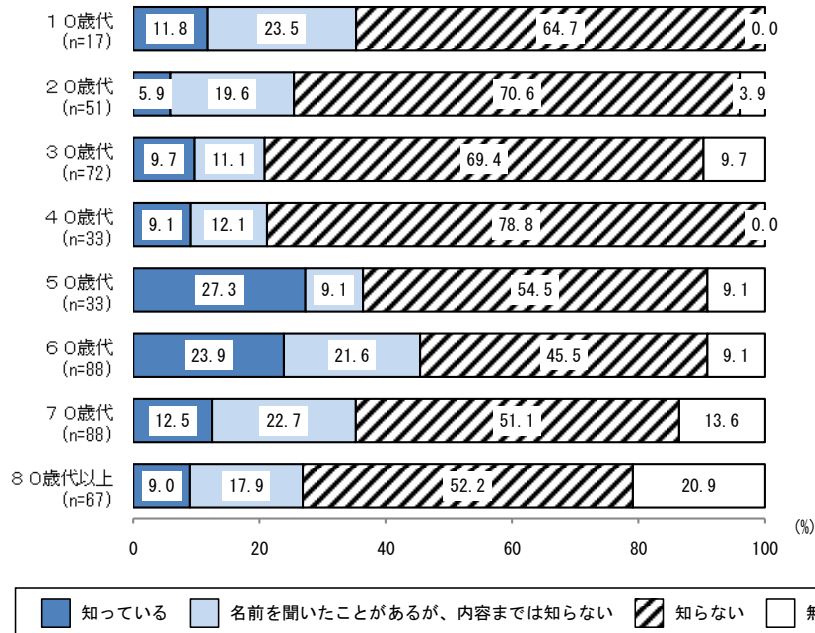
問33 あなたは避難行動要支援者名簿を知っていますか。【1つに○】

避難行動要支援者名簿の認知度は、「知らない」が58.3%と全体の過半数を占めており、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない」が17.7%、「知っている」が13.7%となっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、50歳代と60歳代で「知っている」が高くなっています。



【年齢別】



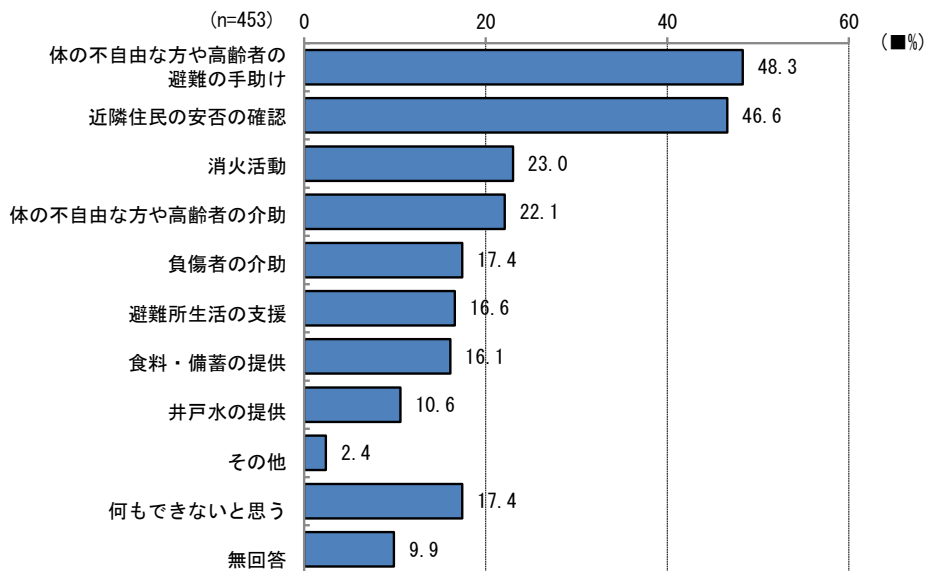
8-3 災害時に自分ができると思うこと

問34 実際の災害時に自分ができると思うことについて教えてください。【あてはまるものすべてに○】

災害時に自分ができると思うことは「体の不自由な方や高齢者の避難の手助け」が48.3%と全体の約半数を占めており、次いで「近隣住民への安否の確認」が46.6%、「消火活動」が23.0%となっています。

性別で見ると、男性に比べて女性は「何もできないと思う」が高く、女性に比べて男性は「体の不自由な方や高齢者の避難の手助け」「近隣住民の安否の確認」「消火活動」が高くなっています。

年齢別で見ると、他の年齢に比べて、70歳代と80歳以上は「何もできないと思う」が高く、「体の不自由な方や高齢者の避難の手助け」「近隣住民の安否の確認」「消火活動」「体の不自由な方や高齢者の介助」が低くなっています。



【性別・年齢別】

| | 回答者数 | 体の不自由な方や高齢者の避難の手助け | 近隣住民の安否の確認 | 消火活動 | 体の不自由な方や高齢者の介助 | 負傷者の介助 | 避難所生活の支援 | 食料・備蓄の提供 | 井戸水の提供 | その他 | 何もできないと思う | 無回答 |
|-------|------|--------------------|------------|------|----------------|--------|----------|----------|--------|-----|-----------|------|
| 全体 | 453 | 48.3 | 46.6 | 23.0 | 22.1 | 17.4 | 16.6 | 16.1 | 10.6 | 2.4 | 17.4 | 9.9 |
| 男性 | 212 | 55.2 | 54.7 | 35.8 | 22.2 | 18.9 | 16.0 | 17.0 | 11.8 | 2.8 | 11.3 | 9.0 |
| 女性 | 239 | 42.7 | 39.3 | 11.7 | 22.2 | 16.3 | 17.2 | 15.1 | 9.6 | 2.1 | 23.0 | 10.5 |
| 10歳代 | 17 | 52.9 | 41.2 | 11.8 | 17.6 | 17.6 | 5.9 | 11.8 | 0.0 | 0.0 | 23.5 | 0.0 |
| 20歳代 | 51 | 74.5 | 52.9 | 23.5 | 37.3 | 39.2 | 17.6 | 13.7 | 3.9 | 0.0 | 9.8 | 3.9 |
| 30歳代 | 72 | 56.9 | 41.7 | 29.2 | 23.6 | 18.1 | 13.9 | 16.7 | 8.3 | 1.4 | 15.3 | 8.3 |
| 40歳代 | 33 | 63.6 | 60.6 | 33.3 | 18.2 | 18.2 | 12.1 | 12.1 | 3.0 | 0.0 | 9.1 | 3.0 |
| 50歳代 | 33 | 48.5 | 45.5 | 24.2 | 27.3 | 15.2 | 18.2 | 12.1 | 9.1 | 0.0 | 9.1 | 9.1 |
| 60歳代 | 88 | 59.1 | 59.1 | 33.0 | 28.4 | 18.2 | 25.0 | 18.2 | 14.8 | 3.4 | 9.1 | 9.1 |
| 70歳代 | 88 | 36.4 | 45.5 | 17.0 | 18.2 | 15.9 | 18.2 | 23.9 | 20.5 | 3.4 | 21.6 | 13.6 |
| 80歳以上 | 67 | 13.4 | 25.4 | 7.5 | 7.5 | 3.0 | 10.4 | 9.0 | 7.5 | 6.0 | 38.8 | 17.9 |

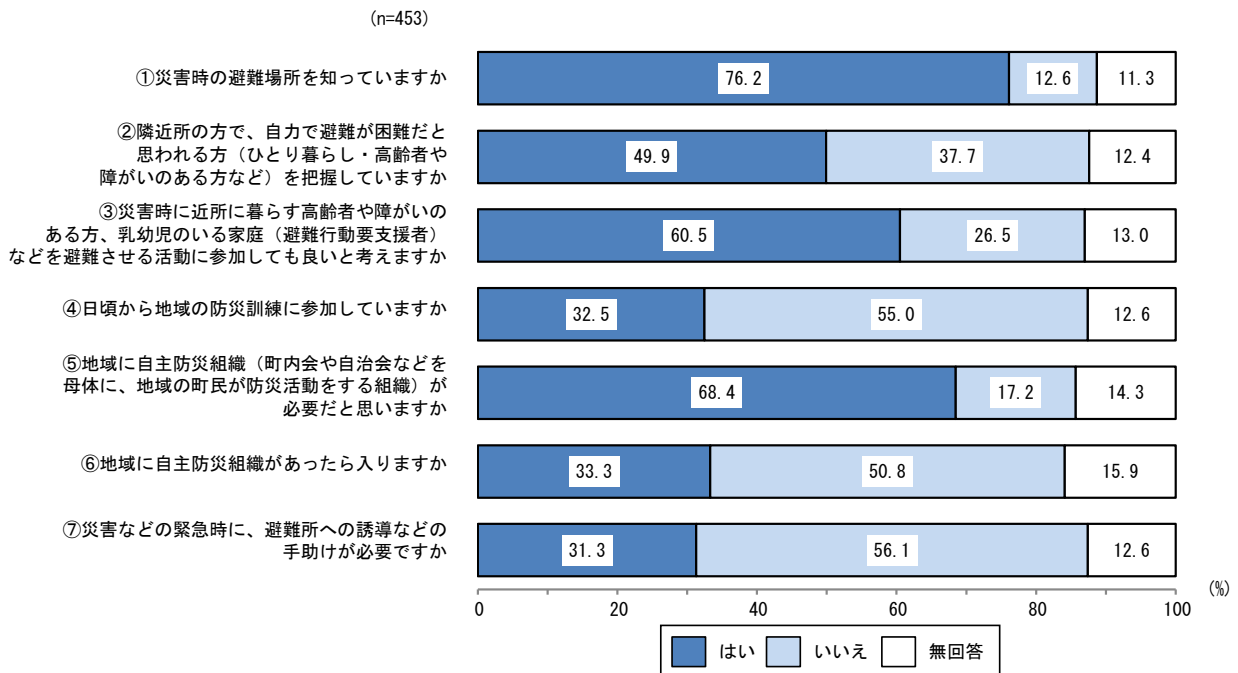
8-4 防災に対する日頃からの取り組み・緊急時の対応

問35 防災に対する日頃からの取り組みや、災害などの緊急時の対応について伺います。①～⑦のそれぞれの項目ごとにあてはまるものを選んでください。【1つに○】

項目によりばらつきが大きくなっており、『災害時の避難場所を知っていますか』『災害時に近所に暮らす高齢者や障がいのある方、乳幼児のいる家庭（避難行動要支援者）などを避難させる活動に参加しても良いと考えますか』『地域に自主防災組織（町内会や自治会などを母体に、地域の町民が防災活動をする組織）が必要だと思いますか』においてはいずれも「はい」の割合が6～8割と高くなっています。

一方で、『日頃から地域の防災訓練に参加していますか』『地域に自主防災組織があったら入りますか』『災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか』においてはいずれも「いいえ」の割合がおよそ5割と高くなっています。

年齢別に見ると、『隣近所の方で、自力で避難が困難と思われる方（ひとり暮らし・高齢者や障がいのある方など）を把握していますか』『日頃から地域の防災訓練に参加していますか』は、40～70歳代で「はい」の割合が高くなっています。



【年齢別（「はい」の回答率）】

| | 回答者数 | ①災害時の避難場所を知っていますか | ②隣近所の方で、自力で避難が困難だと思われる方（ひとり暮らし・高齢者など）を把握していますか | ③災害時に近所に暮らす高齢者や障がいのある方、乳幼児がいる家庭へ避難行動を支援（者）を避難させる活動に参加しても良いと考えますか | ④日頃から地域の防災訓練に参加していますか | ⑤地域に自主防災組織（町内会や自治会などを母体）が必要だと思いませんか | ⑥地域に自主防災組織があったら入りませんか | ⑦災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか |
|-------|------|-------------------|--|--|-----------------------|-------------------------------------|-----------------------|--------------------------------|
| 10歳代 | 17 | 100.0 | 41.2 | 94.1 | 11.8 | 76.5 | 41.2 | 35.3 |
| 20歳代 | 51 | 82.4 | 19.6 | 80.4 | 3.9 | 72.5 | 23.5 | 31.4 |
| 30歳代 | 72 | 66.7 | 37.5 | 63.9 | 23.6 | 56.9 | 27.8 | 20.8 |
| 40歳代 | 33 | 87.9 | 45.5 | 75.8 | 30.3 | 75.8 | 27.3 | 33.3 |
| 50歳代 | 33 | 78.8 | 63.6 | 72.7 | 48.5 | 72.7 | 48.5 | 30.3 |
| 60歳代 | 88 | 83.0 | 69.3 | 69.3 | 45.5 | 71.6 | 51.1 | 23.9 |
| 70歳代 | 88 | 73.9 | 60.2 | 48.9 | 50.0 | 69.3 | 33.0 | 33.0 |
| 80歳以上 | 67 | 64.2 | 47.8 | 25.4 | 23.9 | 65.7 | 19.4 | 50.7 |

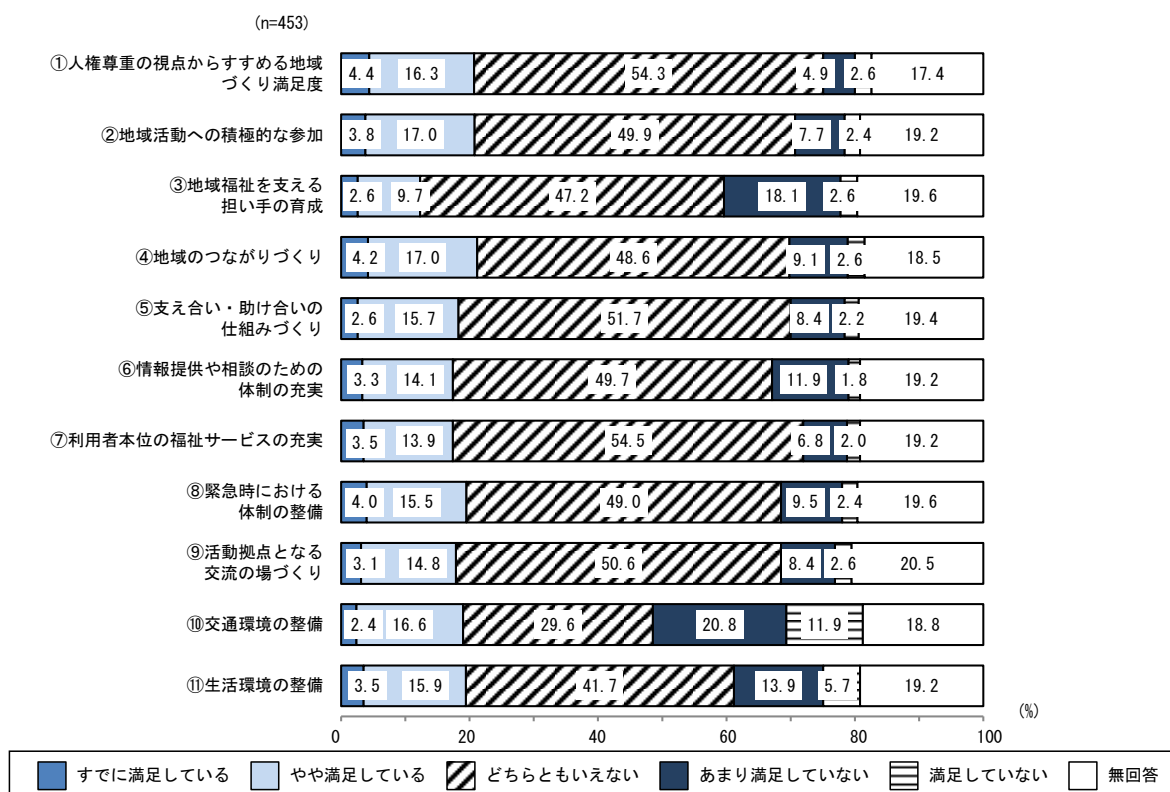
9 町の地域福祉に関する取り組み

9-1 佐用町における福祉政策への住民の満足度

問36 佐用町における福祉施策の現状を、どのように感じていますか。【各項目のA満足度とB重要度についてそれぞれ1つに○】

A. 満足度

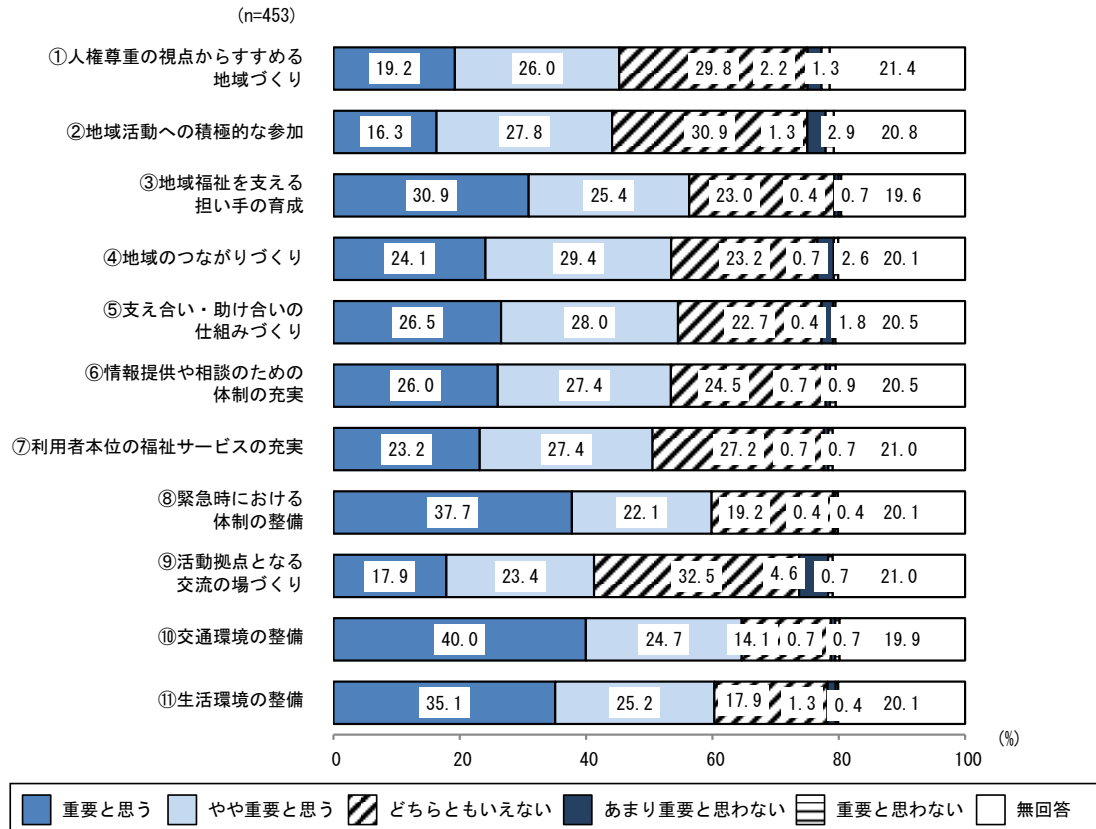
満足度は、すべての項目で「どちらともいえない」が最も高くなっていますが、『地域福祉を支える担い手の育成』が「あまり満足していない」18.1%、「満足していない」2.6%、『交通機関の整備』が「あまり満足していない」20.8%、「満足していない」11.9%と満足度の低さが他の項目よりも目立ちます。



B. 重要度

重要度は、ほぼすべての項目で「重要と思う」「やや重要と思う」の回答率が全体の約半数を占めていますが、『活動拠点となる交流の場づくり』においては「重要と思う」17.9%、「やや重要と思う」23.4%と他の項目と比べて重要度が低くなっています。

一方で『交通環境の整備』においては「重要と思う」40.0%、「やや重要と思う」24.7%と最も重要度が高くなっています。



9-2 相談支援体制を充実するために必要な取り組み

問37 昨今の多様な生活課題に対応するため、暮らしで困ったことがあれば、何でもどこかへ相談できる体制が求められます。あなたは、このような相談支援体制を充実するために、町でどのような取り組みを行うべきだと思いますか。

意見は次の通りです。

| |
|--|
| 親身に話を聞いてくれる人の育成 |
| 親身になって相談を聞いてくれる人がほしい |
| SNSや、インターネットでの窓口を開き、対人での話が苦手な人の取組を充実すべき |
| そもそも困った時どこに連絡すればよいか知らないので関係窓口の連絡先を公開、公表する。 |
| 今の支援体制の内容がよくわからない為答えられない |
| 役場の福祉課に相談できる人がいなくなった。困っている。 |
| 空き家の持ち主への管理(除草、倒壊の危険)の連絡をしてほしい。 |

9-3 自由記述

問38 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、ご意見やご要望があれば、自由に書いてください。

いただいた意見は次の通りです。(一部抜粋)

① 高齢化・高齢者支援

| | | |
|--|----|--------|
| 佐用町は高齢の方が多く暮らしているため、まずは高齢者施設やデイサービスなどの充実、老々介護や認知症の方、またはその家族への支援等が必要だと思います。対して、子どもが少ないため、若い方が帰ってきて子育てしやすい環境作り、支援も必要だと思います。佐用は車がなければ生活できません。そのため高齢の方も免許返納をためらわれていると思います。公共交通機関が少ないので、バスの増加、自宅への買い物宅配サービスなども充実させてほしいです。 | 女性 | 20 歳代 |
| 近所は高齢者が多く、新たに住む方も少ないので将来は近所さんが減ってしまうのでは、と不安があります。 | 女性 | 30 歳代 |
| 将来、車の運転ができなくなった時、生活が(楽しく)できるかと不安に感じる場合があります。健康で楽しく生活ができればと思います。 | 女性 | 50 歳代 |
| 私たちの隣保・部落でも1人暮らしの人がふえています。1人暮らしでも自分の事ができ、生活できている時はいいのですが、1人になると話もできず、外へ出なかつたりすると認知症・うつなどになるおそれがあります。現在コロナのため外出とか家に行っても話も出来ないのに対応がむずかしいです。私たち夫婦はまだ元気で息子夫婦・孫といっしょに生活しています。年金生活で動ける間はよいのですが、1人になったりしたら施設に入りたくても、高齢者住宅など入所料が高く、低所得者にも入れる施設を作してほしい。1人暮らしでも元気な人がありデイサービスといった、かたくなる感じではなく何人か集まって話をしたり、料理を作ったり、少し自由な場所があればなと考えます。(ボランティアもあり) | 女性 | 60 歳代 |
| 現在は、車の運転もでき、買い物や病院へも行くことができますが、今後歳を重ね、それらもできなくなった時にどのようにすればよいのか・・・と考えてしまいます。高齢になっても行きたい所へ行けるような、安全で便利な交通手段が必要だと思います。町でもバスやタクシーなど利用できる方法があるようですが、具体的によくわかりませんし、とても便利なものという感じもしません。もっと使ってみたいと思えるような交通手段が身近にあれば安心して生活できるのではないかと考えます。高齢になっても楽しく安全に、安心して暮らせる町であることを願います。 | 女性 | 60 歳代 |
| 老人が多く、課題は、通院と買物です。高齢になっても、この2つがなんとかなれば、やって行けます。また、遠くの病院への検査や入院となった時、子供の都合がつけば、いいが・・・。 | 女性 | 70 歳代 |
| 段々と年をとっていく中、冬に雪など降った時、県道などは除雪車がきますが、町道などすまいにかかせない道など雪のけに大変です。そういった小さな細い道の雪のけ考えて頂けたら幸いです。 | 女性 | 70 歳代 |
| 高齢化が進んでおりますので高齢者を支援する活動に力を入れて頂きたいと思います。 | 女性 | 80 歳以上 |
| あまりプライバシーばかり言わないで年寄りあつかいせずお婆捨て山にしないで欲しい。元気出して山林や田畑を守ってきたから現在があるのをもう少し若い人達は知って欲しい。 | 女性 | 80 歳以上 |
| ここ近年の間に人々の考え方、行動が変わってきたように思う。昔から続いて来た部落内の慣習や行事、人とのつき合いに何処となく冷たさが増し、言葉・行動に至っても、個人主義・利己主義が増えて来たように感じられる。とり訳昔が良かった訳じゃないが暖かみがあった。権利は主張するも、義務は遠ざかりまるで都会風・・・と言えば聞こえは良いが従来あった田舎の良さ、人とのつながりが消えつつある。近年市町村は福祉行政に力を注いでいますが、その反面、福祉を逆手に取り、元気な年寄りでも高齢者施設へ入居される家庭、医療費負担が安い為週に4~5日とハビリやデイサービス等へと出掛ける。その上旬に疲れて寝込んでしまう。物ごと、何事に於いても程々と言うことがあります。個人で動ける人には福祉も程々であって良いのではないかと。負担は、若年層に及んでくる。 | 男性 | 70 歳代 |
| 高齢者にとっては、車に乗れなくなった時の通院、買物に不便であり今ある「さよさよサービス、タクシー会社の充実、その他、地域差は有るものの不便地に住む町民の利便性の高揚を図っていただきたい。 | 男性 | 80 歳以上 |

② 娯楽・商業施設

| | | |
|---|----|-------|
| 佐用は自然が豊かだがその分娯楽施設等が少ないので退屈と思う事がある。いちよう園や老人ホーム等の障がい者、高齢者が住みやすい地域な印象がある。静かで住みやすいかもしれないが若年層の定着が難しい地域かなと思っている。コンビニがあるのが救いとなっている節がある。商店街を飲食店以外で利用することがない。最近空き家を使ったお店や新しいお店を出す所を見るがあまり立ち寄る機会がない。そもそも広告媒体で見る機会がなくて知らなかったりすることが多いのでそういう情報を知れる様に駅の広告とかに出して欲しい。 | 男性 | 20 歳代 |
| 娯楽施設の充実・イベント、大会等の実施・地域ブランドの確立・アウトドア施設の設立、運営 | 男性 | 40歳代 |

③ まちづくり

| | | |
|--|----|-------|
| 安心・安全で暮らしやすい町づくりのためには、費用も必要となります。人・もの・金の充実のために町の収入減を考える必要があると思います。税込だけでなく、農産物の輸出や観光等による収入、道の駅等を活用とする収入企業の誘致、町外からの転入などなど。大学や企業と連携して取り組まれているが不十分だと思います。高齢化、人口減少が急速に進んでいるため早急に取り組みを具現化していただきたい。 | 女性 | 60 歳代 |
| 町全域にわたるサービス、保全には限界があるため、都市機能を集約していく必要があると思います。そのために市街化区域の設定や都市計画の作定を行い、居住スペースを確保していくことが必要だと思います。 | 男性 | 30 歳代 |
| 魅力ある町づくりがどんなものか分かりませんが他の町村で成功している例などを参考にして若者が少しでも定住してもらえるよう新たな拠点づくりをしてもらいたい。また、空き家の解体に伴う補助や解体後の税制の問題も県とも調整してなんとかしてもらいたい。 | 男性 | 60 歳代 |

④ 相談先

| | | |
|--|----|-------|
| 思いもよらない問題が生じた時に、この問題ならことわかるように相談機能を充実させて、道しるべを作ってほしい。 | 女性 | 60 歳代 |
| 困った事は、まず役場に相談するという考えがありますが、役場の窓口での対応が町民に寄り添うような雰囲気ではない。多様な相談を聞いてくれるような職員になってほしい。 | 男性 | 50 歳代 |
| 困った事は、まず役場に相談するという考えがありますが、役場の窓口での対応が町民に寄り添うような雰囲気ではない。多様な相談を聞いてくれるような職員になってほしい！！ | 女性 | 60 歳代 |
| 名前を出して相談しにくい場合や時間の都合がつかない人のために、インターネットでの(チャット式等)の相談ができる場がほしい。地域の医療(特に診療所)の医師の高齢化で、診断をあまり信用できない時もある。セカンドオピニオンも含め、医療の充実を切に願う。子どもが安心して遊べる場所が少ない。特に近所の公園等は遊具も古く整備されていないものもあり、使いにくい。遊具自体がないところもあるので、せめて各地域に1つくらいは整備された公園がほしい。(三方里山や、笹ヶ丘があるが、車で行かなくてはならず、ひんぱんにはつれていけない。ふだん遊びのできる場所を)病児保育はあるが、熱が下がるまではあずかってもらえなかったり下熱後も利用をことわられるパターンが多い。必要だからこそ、あずかれる場所をふやしてほしい。(民間のそのようなあずかりがあれば助成してほしい) | 女性 | 30 歳代 |
| 支所で全ての項目に対応出来る力がない方もおられるので本所のみとするか少人数で各分野に精通した方のみにしてもらわないとアチコチに振り回されてしまう | 女性 | 60 歳代 |

⑤ 交通

| | | |
|---|----|--------|
| 電車の本数を増やしてほしいです。 | 女性 | 20 歳代 |
| ICOCAカードの導入。姫新線の本数を増やしていただきたい。これ以上減ってしまうと手に負えない。 | 男性 | 10 歳代 |
| 智頭線に乗る本数が少なくて不便だからもう少し本数を増やしてほしい。智頭線料金を半額にしてほしい。 | 男性 | 30 歳代 |
| 子どもの通学路の安全の確保をしてほしい。(時間指定で立入禁止にする等)通勤時に、交通ルールの無視が多く、児童が危険にさらされている為、地域で取り締まり等、対策が取れる様にしてほしい。障がい者の為の、支援・制度をもっと充実して、情報を広めてほしい。 | 男性 | 30 歳代 |
| さよさよサービスでなく各地域からの定期バスの運行を望む(町外へも利用できる運行をお願い致します)。 | 男性 | 80 歳以上 |
| 姫新線の廃止だけは、やめて欲しい。また、高校生の利用が多いのですが、電車のマナーがなっておらず、とても迷惑しているので指導して欲しい。(ボックス席に、2人で座り、荷物 | 女性 | 30歳代 |

| | | |
|---|--|--|
| を置いて4人掛けを独占する。乗り換えの際、ケータイやイヤホン等を座席に置き場所取りをしている。通路にカバンを置いて邪魔をする。等) | | |
|---|--|--|

⑥ 被害・災害

| | | |
|---|----|-------|
| 常に害獣による被害が多すぎるので徹底した対策をお願いしたい。 | 女性 | 60 歳代 |
| 水害後、河川改修工事が行われたが、その後たまった土砂に草がボーボーに生えているので、その撤去作業をしてほしい。川の中にたまっている土砂のことです。 | 男性 | 30 歳代 |

⑦ 観光・特産品

| | | |
|--|----|-------|
| ①観光面で安倍清明、蘆屋道満、上月城、利神城、高蔵寺、徳久城、三日月城、佐用城、さよひめ神社、平知盛等を少し管理して、見てもらえる状況にする。②ひまわりまつりの場所で年間通じて観光してもらえる等で考える③スポーツ公園の東の山の上に道路をつけて宿泊施設をつくる(オートキャンプ場などもこの中に入れる)④テクノに総合病院を作る⑤三日月と南光のおフロの再開させる⑥大撫山と笹ヶ丘両方共オートキャンプ場等も考える | 女性 | 70 歳代 |
|--|----|-------|

⑧ 経済的支援

| | | |
|---|----|-------|
| 佐用町在住の高校生の医療費が無料なのであれば、子育て支援券(小中学生が配布されるもの)を同じ様にしてもらいたい。電車通学の子供がいる家庭には少しでも、電車(定期の負担が)軽減されるものを作っていたきたい。1万円まで町が支援するなど。そうすれば、電車の利用もでき、子育て家庭には、ありがたい。老人だけではなく、中・高生をもっと考えてほしい。 | 女性 | 30 歳代 |
|---|----|-------|

⑨ サービス・制度

| | | |
|--|----|-------|
| 介護を必要とする人が多いが、介護をする人の息抜きする場所や娯楽が少ないと思う。・陣痛タクシーが欲しい。・子どもを遊ばせる公園を充実させて欲しい。・公園の遊具を新調して欲しい。・バスが欲しい。・図書館の本を増やして欲しい。・図書館に図書除菌器を常設して欲しい。・車に本を載せて移動する移動図書館が欲しい。・もえるゴミの袋が高すぎるので安くして欲しい。・もえるゴミの日が週に一日しかないので、週二日にして欲しい。 | 女性 | 20 歳代 |
| 相対的貧困家庭やヤングケアラーの問題など、表には出にくい困っている人を見つけ支援する制度を考えていただきたい。地域・行政・学校等関係者がより一層連携を深められればと思う。 | 男性 | 30 歳代 |

⑩ 病院

| | | |
|---|----|-------|
| 若い人が働く場所が少ないので高齢者が多くなる。病院に限られていて産科がないので子供を産みにくい。交通の便が悪い。 | 女性 | 50 歳代 |
| 可能な限り、自宅で最後を迎えられるように、終末医療体制をつくってもらいたい。又、その情報を分かりやすく流して欲しい。正確な情報の提供が安心して暮らせるためにはまず大切だと思う。コロナに関する情報が全くなく、かえって不安がつのっている。 | 女性 | 70 歳代 |

⑪ 行政

| | | |
|--|----|-------|
| 本庁の職員、人数が多くヒマそうに見える。支所の人あまり仕事がないように見える。今は何でも機械化されているのに職員が多くてヒマそう。本庁に行っても、いい感じはしない。多ければ、それなりにきちんと仕事をされては？町民、誰もが感じていますよ。 | 女性 | 70 歳代 |
| 母子手帳交付の際にすごく丁寧に説明等してくださってありがたかったです。不安もある中だったので安心することができました。 | 女性 | 20 歳代 |
| 開かれた役場、職員のスキルアップ(職場のタライ回しでなく幅の広い職員の養成が必要。担当の垣根を越えて、対応できる職員の養成地元出身の職員の活用。 | 女性 | 60 歳代 |
| 意見や要望をいつでも町に言えるようにしてほしい。どのような要望が現在あがっているかみられるようにしてほしい。仕事をしている人は要望があってもなかなか言いに行く時間がない。インターネットなど利用し意見できるようにする。もしそのような対応すでにできているとすれば周知することができていないので、もっとわかりやすい所に意見要望の方法を色々な所に情報提供していくべきだと思います。 | 男性 | 40 歳代 |
| たらいまわし、同じ説明を何度も各部署でさせられる等の苦情を周囲で聞いたことがあります。情報共有最低限行うべきでは？ | 男性 | 30 歳代 |

⑫ 移住定住・就労場所

| | | |
|---|----|--------|
| 安心して暮らせるとなると他の地域からの転入者が多くなると不安になるが佐用町を活性化するには、人口が増えなければいけないと思う。大きな会社(企業)、病院などが建設されたらいいのと思う。 | 女性 | 40 歳代 |
| 佐用は移住者を大切にしていない・友達に佐用は良い所ではない移住するなど言っている。とくに、水道料など(町民から金をむしりとれ)との感じでいやな町、くるんじゃなかった。役所も、きまっている事だからと融通がきかない。 | 女性 | 60 歳代 |
| 人口が減少して空き家が次々に増え淋しく思います。若い人が住み安く働く場所が増えたらいいなあと思います | 女性 | 80 歳以上 |
| そもそも慣れていない移住者でも安心して暮らせるまちづくりを目指して欲しいです。佐用町は観光資源や自然に恵まれているので、それを活かした雇用の創出、若者や子育て世代を総合的にサポートして欲しいです。そうすれば、移住者も増え、活気のある町に変化できると思います。正直私は、たまたま実家が佐用町なので住んでいるだけで、心から住んでいたいと思っている訳ではないです。同級生の9割以上が、他地域で生活しています。高齢者への支援は大切ですが、もう少し、若者への支援を手厚くしなければずっと人口が減っていくと思うので、改善を楽しみにしています。 | 男性 | 20 歳代 |
| 注目を置く対象は中高生等の若者で、中高生に直接アンケートをとり、どのような町なら卒業後も佐用に住み続けたいと思うか、どのようなイベントなら参加したいと思うかを答えてもらう。 | 男性 | 20 歳代 |
| 物価も上がり、今まで必要なかった出費も増え、家族が生活をしていく事はギリギリ可能でも、それにプラスで十分な子育てや介護となれば不可能に近いと思う。副業や投資などあたりまえの様に言われるが実際は税金や勤めている会社の理解もとなると難しいと思う。国や市や町にも出きる事も限界があると思う。せつかく広い土地や農業の知識があるのだから、家計やこれからの生活に不安のある家族と協力して、資源を生み出しそれを使って商品を開発してくれる企業と協力して出た利益を使ってより良い支援と補助を充実させて若者が集まる様にして下さい。 | 男性 | 30 歳代 |
| 若い世代の定住を増加させるための支援体制を早急に進めるべき。高齢者ばかりでなく、未来のある世代にもしっかり力をそそいでいかなければ、この先の佐用町の未来もなければ発展もないと思います。佐用町を一般社会の中で言うところの中小企業に例えると、今の佐用町は入社する魅力(会社の強み)のない会社の様な感じです。自分は生まれも育ちも佐用町で地元が好きだから、友達もたくさんいるから定住している。しかし、外部の人は、それ以外の理由を見つけてもらわないといけない。周りの市町を超える条件を満たす、魅力あるものを考えて実行して、佐用町に活気をもたらししてほしいです。 | 男性 | 30 歳代 |
| まちづくりに参加出来る若い世代が必要。若い世代の住人が増える・減らないよう、多くの勤め先、職場の充実。←そのために安く住める住宅(空き屋等)の確保。 | 男性 | 40 歳代 |
| 魅力ある町づくりがどんなものか分かりませんが他の町村で成功している例などを参考にし若者が少しでも定住してもらえるよう新たな拠点づくりをしてもらいたい。また、空き家の解体に伴う補助や解体後の税制の問題も県とも調整してなんとかしてもらいたい。 | 男性 | 60 歳代 |

⑬ 生涯学習

| | | |
|---|----|-------|
| 大人の学び直しをサポートするような大人の大学(学校)のようなものがあれば利用したいな、と思います。 | 女性 | 20 歳代 |
|---|----|-------|

⑭ 障がい者支援

| | | |
|---|----|-------|
| 地或で障がい者が生きていくのに見えない障害はとて理解されずすみにくい。舎田ほど障がいにはなまけあまえと思われる人が多いので説明するだけ、身が疲れはてる気がする。福祉にも力が入っていないのもっと他町山崎やたつのなどを参考に、みえにくい障がい者支援をもう少し力入れてほしい。人がいない。みなさんコロナでとてもいそがしく、なかなかゆっくり聞いて頂けなくなりましたのでスタッフを増してもらおうのも大切な気がします。気くばりできる、思いやれる、気持ちの有る方の育成も大切な気がします。 | 男性 | 20 歳代 |
|---|----|-------|